

保証書

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 **FDR-810**

シリアルNo. ┌

お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年
お客様	お名前 〒 様 TEL ()
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
 - (リ) 対象製品を直接修理窓口へ送付いただく際の送料等はお客様の負担となります。
 - (ヌ) 出張修理等に係る費用はお客様の負担となります。
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

- ※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

フォークリフトレコーダー

Yupiteru

FDR-810

取扱説明書

12V/24V車対応



このたびは、弊社製品のフォークリフトレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、連続した録画記録や、万一の事故発生時に映像を最大60秒間記録します。

⚠ 注意

- ・事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからSDカードを抜いて保管してください。
- ・電源ONの状態でのSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、10秒以上経ってからSDカードの抜き差しを行ってください。

確認
とご注意

基礎
知識

設置
と準備

専用
ソフト

その他

●重要事項●



必ず数カ月に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域（=不良セクタ）が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。

数カ月に一度SDカードをフォーマット（● P.64）することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	7

基礎知識

各部の名称と働き	9
1. 付属品	10
2. 別売品	11

SDカードの装着/取り外し	12
1. SDカードを本機へ装着する	12
2. SDカードを本機から取り外す	13

録画について	14
1. 常時録画	14
2. イベント記録 (Gセンサー記録とジャイロセンサー記録)	15
3. マルチトリガーについて	15
4. 上書きモードについて	15

設置と準備

本体への接続方法	16
1. 接続方法	16
2. ヒューズの交換について	18

取り付けかた	19
1. 防水周囲カメラの取り付け	21
2. センサユニットの取り付け	23
3. オプション防水周囲カメラの取り付け	25
4. オプションサブカメラの取り付け	26
5. 本体の取り付け	28

専用ソフトのインストール	30
動作テスト	31
1. 設置角度検出をする	31
2. 本機の準備	33
3. テスト記録の確認	35

専用ソフト

専用ソフトの使いかた	37
1. 録画データの準備	37
2. 画面説明	38
3. 表示方法の種類	39
4. 表示エリアの操作	41

記録した映像を再生する	44
1. 録画データを再生する(イベント記録)	44
2. 録画データを再生する(常時録画)	46

記録した映像を保存する	48
1. バックアップ	48

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画ファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることを勧めします。(☛ P.48)

●SDカードは消耗品です。

フォーマットしてもエラー音(☛ P.33)が鳴る場合は、SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SDカードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒に買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

2. 動画変換	49
3. 静止画変換	50

レポート表示する 51

1. レポートを表示(印刷)する(イベント記録) ...	51
2. レポートを表示(印刷)する(常時録画)	53
3. レポートを表示(印刷)する(履歴記録)	55

記録した映像を印刷する 57

履歴記録を見る 58

設定を変更する 60

1. 記録設定	60
2. システム	62
3. 衝撃感度設定	63
4. SDカードフォーマット.....	64
5. 録画データ削除	66
6. 記録設定データ初期化	67
7. バックアップ	67
8. 初期設定に戻す	67

インフォメーション 67

その他

別売品のSDカードを使用する前に.....	68
-----------------------	----

SDカードの機種設定の確認/変更... 70

1. SDカードの機種設定を確認する.....	70
2. SDカードの機種設定を変更する.....	71

故障かな?と思ったら 72

仕様 76

映像記録時間の目安 77

1. 録画時間	77
2. イベント記録件数	77

2カメラ併用時のイベント記録時間... 78

アフターサービス 79

保証書 裏表紙

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠️ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

- ❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.79 「アフターサービス」

- ❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

- ❗ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

- 🚫 **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- 🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- 🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



⚠ 注意

❌ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

❌ 濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。



❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

⚠ 本機は精密機械です。
静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

● 取り付けについて

⚠ 警告

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

❗ 取り付けは確実に行ってください。
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

● 電源コードについて

⚠ 警告

❗ 電源コードは確実に差し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。

❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

❗ 取り付け作業中はバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
バッテリーのマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートによる故障や感電、けがの原因となります。

❗ コードの接続は＋の極性をよく確かめて確実に行ってください。
異常過熱や発火の原因となります。

❗ 取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。
車両の電装品（ブレーキ、ライト、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。

- ⊘ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

- ⊘ バッテリーに直接接続しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。

●SDカードについて

⚠ 警告

- ⚠ SDカードの出し入れは、車両のエンジンをOFF後、10秒待ってから行ってください。

10秒



- ⚠ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ⚠ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ⚠ 運転中にカメラ等を注視しないでください。

前方不注意による事故の原因となります。

- ⊘ 海外ではご使用にならないでください。本機は日本国内仕様です。

- ⊘ 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ⊘ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ⚠ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などでふくとキズの原因となります。

- ⊘ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ⊘ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
 - 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
 - ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
 - ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
 - ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED式信号機は高速点滅しているので、点滅して撮影される場合があります。
- ・ LED式信号機対策を行っているため、完全消灯状態で撮影されることはありません。
- ・ 色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周囲の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中にカメラ等を注視したり、操作しないでください。
- ・ 事故発生時は、録画データが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。

■ 取り付けに関する注意

- ・ 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・ 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ 走行中に本機が落下しないように市販品のコードクリップなどで固定し、取り付けてください。

■ 撮影された映像について

- ・ 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 電源コードに関する注意

- ・ ヒューズケーブルは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ ヒューズケーブルのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ SDカードに関する注意

- SDカードは必ず付属品が別売品を使用してください。市販品のSDカードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。別売品のSDカード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、リーダーライターがSDXCメモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないリーダーライターに接続すると、SDXCメモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります。
- SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、数ヶ月に一度、専用ソフトでの[SDカードフォーマット]を行うことをお勧めします。
- SDカードは消耗品ですので、定期的な新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

■ 使用前の注意

- ① P.30を参照し、専用ソフトをパソコンにインストールして起動してください。
- ②専用ソフトのファイルメニュー[ツール]→[記録設定]から各種の設定を確認し、[OK]をクリックしてください。



■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

本機は、正しい取り付けを行うとIP56規格に準拠します。

IPとはIEC(国際電気標準会議)規格で定められた防水や防塵に対する規格です。

IP56
└─ IPコード文字

第一特性数字5…粉塵が内部に侵入することを防止。また若干の侵入があっても正常の動作を阻害することがない。

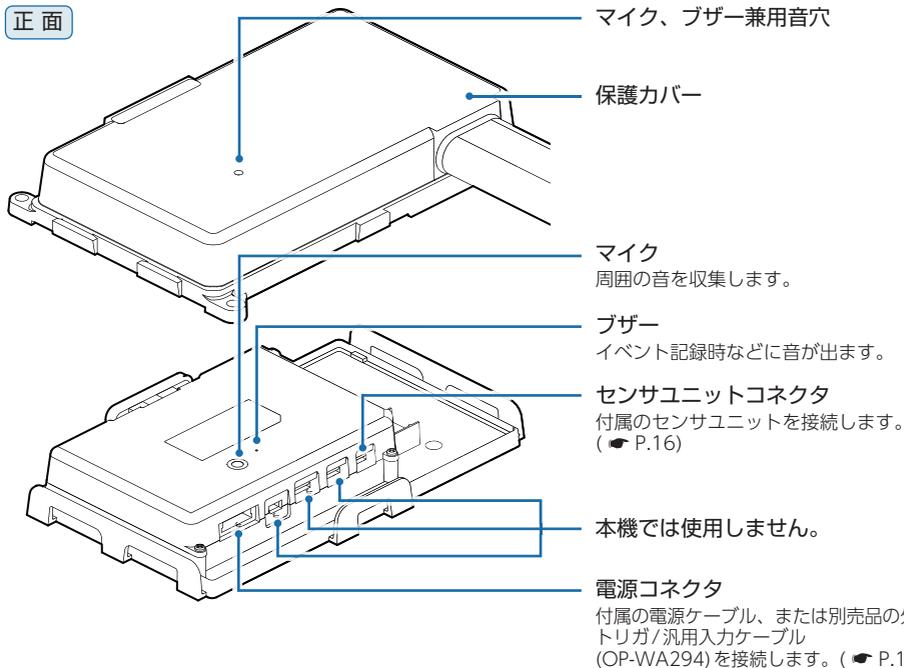
第二特性数字6…あらゆる方向からの強い噴流水によっても、有害な影響を受けない。

※ 完全防水ではありません。

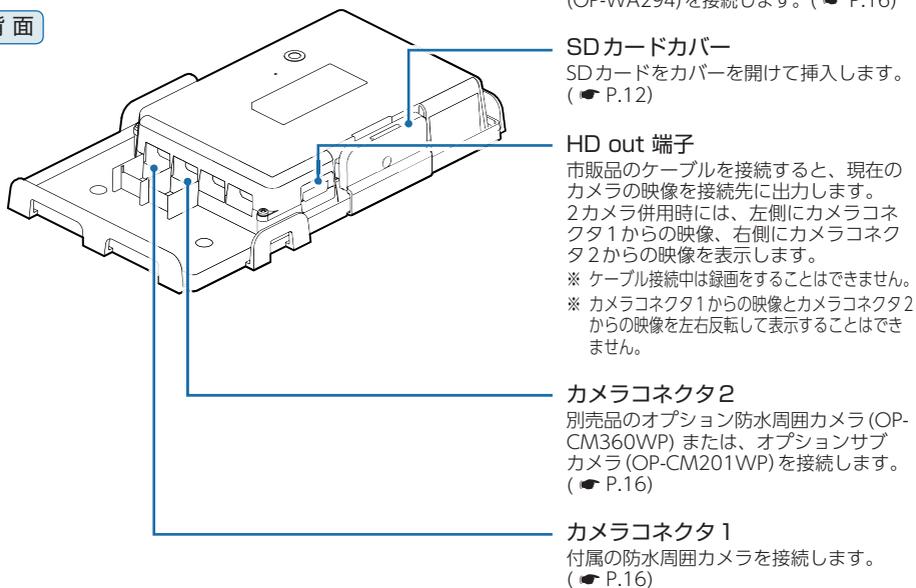
各部の名称と働き

■ 本体(メインユニット(IP56準拠))

正面



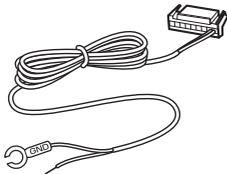
背面



1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ 電源ケーブル(約3m) …………… 1



■ ヒューズケーブル …………… 1

■ センサユニット(IP56準拠)
(約4m) …………… 1

■ 防水周囲カメラ(IP56準拠)
(約3m) …………… 1

■ 防水カメラケーブル(IP56準拠)
(約3m) …………… 1

■ 本体取り付け用ネジ(M4×25mm)
・ワッシャー・ナット …………… 各4

■ タイラップ …………… 4

■ 両面テープ …………… 2



防水周囲カメラ (● P.22)
センサユニット (● P.24)
(24.5mm × 38.5mm)

■ 専用SDカード(8GB) …………… 1

■ 取扱説明書・保証書(本書) …………… 1

- ・本機には、お買い上げの日から1年間の製品保証がついています。ただし、SDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
- ・SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

※ 付属品・別売品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

2. 別売品

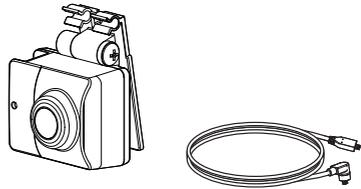
■ 専用SDカード(16GB)	OP-SD16	6,600円
■ 専用SDカード(32GB)	OP-SD32	11,000円
■ 専用SDカード(64GB)	OP-SD64	19,800円
■ 専用SDカード(128GB)	OP-SD128	39,600円

※ 付属品、または別売品のSDカード以外は使用しないでください。

■ オプション防水周囲カメラ(IP56 準拠)(約3m) OP-CM360WP 33,000円

- 本体.....1
- 両面テープ.....1
- 防水カメラケーブル(約3m).....1

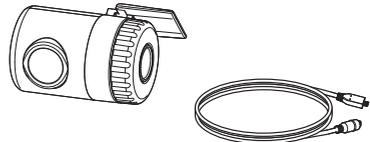
付属品と同等の防水周囲カメラです。1台で前後左右360°全周囲撮影できます。
オプション防水周囲カメラを接続することで2カメラの同時記録が可能です。(☛ P.21)



■ オプションサブカメラ(IP56 準拠) OP-CM201WP 22,000円

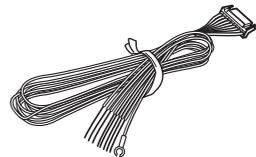
- 本体.....1
- 両面テープ.....1
- カメラケーブル(約3m).....1

オプションサブカメラを接続することで2カメラの同時記録が可能です。(☛ P.26)



■ 外部トリガ/汎用入力ケーブル OP-WA294 4,400円

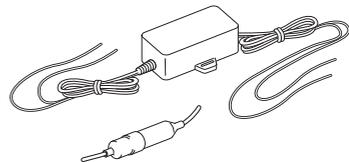
接続することで汎用入力情報を記録できます。(☛ P.16)



■ フォークリフト用電源ユニット OP-DC48 11,000円

- 本体.....1
- ヒューズケーブル.....1

31V-76Vから12Vに変圧できます。



SDカードの装着 / 取り外し

⚠ 注意

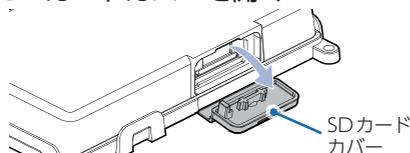
- ・電源ONの状態でSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、10秒以上経ってからSDカードの抜き差しを行ってください。
- ・SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属のSDカードまたは別売品のSDカード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

1. SDカードを本機へ装着する

1-1 車両のエンジンをOFFにする

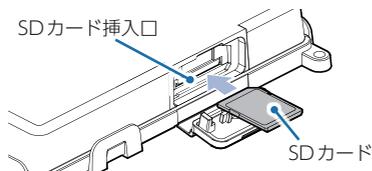
エンジンをOFFにしてから10秒間待ちます。

1-2 SDカードカバーを開く



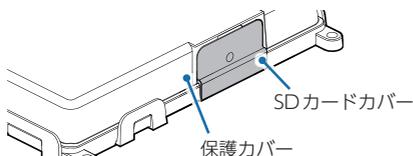
矢印の方向に引いて開きます。

1-3 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

1-4 SDカードカバーを閉める

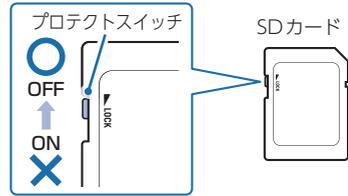


SDカードカバーが閉まっていないと防塵 / 防水機能が損なわれ故障の原因になりますので必ず、SDカードカバーが閉まっていることを確認してください。

※ SDカードカバーの外周部分を強く押して、SDカードカバーが保護カバーより飛び出した状態にならないようにしてください。

SDプロテクトスイッチについて

SDカードには、プロテクト（書き込み禁止）機能が付いています。使用時には、必ずプロテクトスイッチをOFFにしてください。



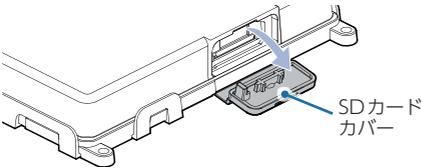
2. SDカードを本機から取り外す

2-1 車両のエンジンをOFFにする

エンジンをOFFにしてから10秒間待ちます。

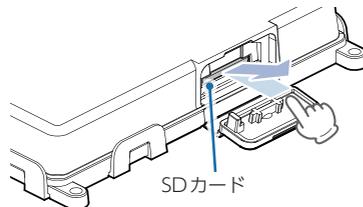
※ エンジンをOFFにしても、しばらくはSDカードにデータの書き込みが行われています。
SDカードの抜き差しは、エンジンOFF後10秒以上経ってから行ってください。

2-2 SDカードカバーを開く



矢印の方向に引いて開きます。

2-3 SDカードを押し込み、カードが飛び出してから引き抜く

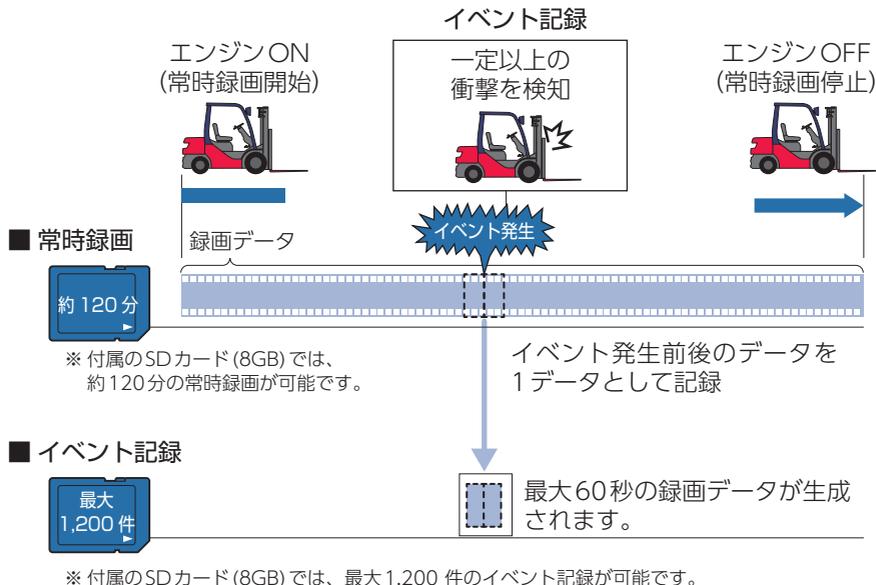


※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

録画について

録画方法は、[常時録画]、[イベント記録]、[常時+イベント]があります。専用ソフトを使って、録画方法を選択することができます。(P.60)

※ 初期値は[常時+イベント]に設定されています。



1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。記録したい時間に合わせて、設定を変更してください。(P.60)

・録画可能時間

初期値 (30コマ/秒、1080P(1920×1080)) で、付属のSDカード (8GB) に約 120 分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(P.77 「映像記録時間の目安」)

・上書きモード

初期値では、上書きモードが [ON] のため、120 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(P.60 「上書きモード」)

2. イベント記録(Gセンサー記録とジャイロセンサー記録)

イベント記録にはGセンサー記録とジャイロセンサー記録があります。
イベント記録時はビープ音が鳴り、記録が行われます。

※前後時間比率は、記録設定によって変更することができます。(● P.60)

※記録時の警報ブザーは設定でOFFにすることができます。(● P.62)

※録画コマ数を[2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります。(● P.60)

・録画データ構成

1データあたり最大60秒(イベント発生前50秒とイベント発生後10秒)で生成します。

・最大記録件数

初期値(前後10秒(20秒))で、付属のSDカード(8GB)に360件のイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(● P.77「イベント記録件数」)

・上書きモード

初期値では、上書きモードが[ON]のため、記録件数が360件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(● P.62「上書きモード」)

■ イベント記録(Gセンサー記録・ジャイロセンサー記録)

センサユニットのGセンサー・ジャイロセンサーが一定の衝撃を検知した場合には[イベント記録]として前後の映像をSDカードに記録します。

一定以上の衝撃を検知



トリガ(映像を記録するきっかけ)の種類
衝撃(Gセンサー)
急発進/急ブレーキ(Gセンサー)
急ハンドル(Gセンサー)
急旋回(ジャイロセンサー)

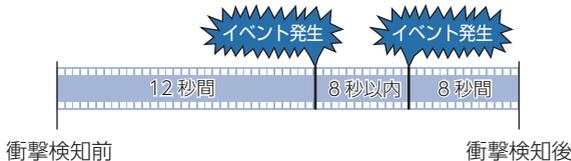
※衝撃が複数あった場合や、衝撃と急発進が重なって発生した場合は「衝撃、など」と記録されます。

3. マルチトリガーについて

本機では、イベント記録中に新たな衝撃が加わった場合、2回目以降の衝撃も連続して記録可能です。

※マルチトリガー検知後は、設定されている時間(例：8秒間)記録します。

■ 例：イベント記録時間の設定が12秒/8秒の場合



4. 上書きモードについて

上書きモードを[OFF]にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、「ピーピーピーピー」と4回ビープ音が鳴り、その録画方法での録画を停止します。(● P.60)

本体への接続方法

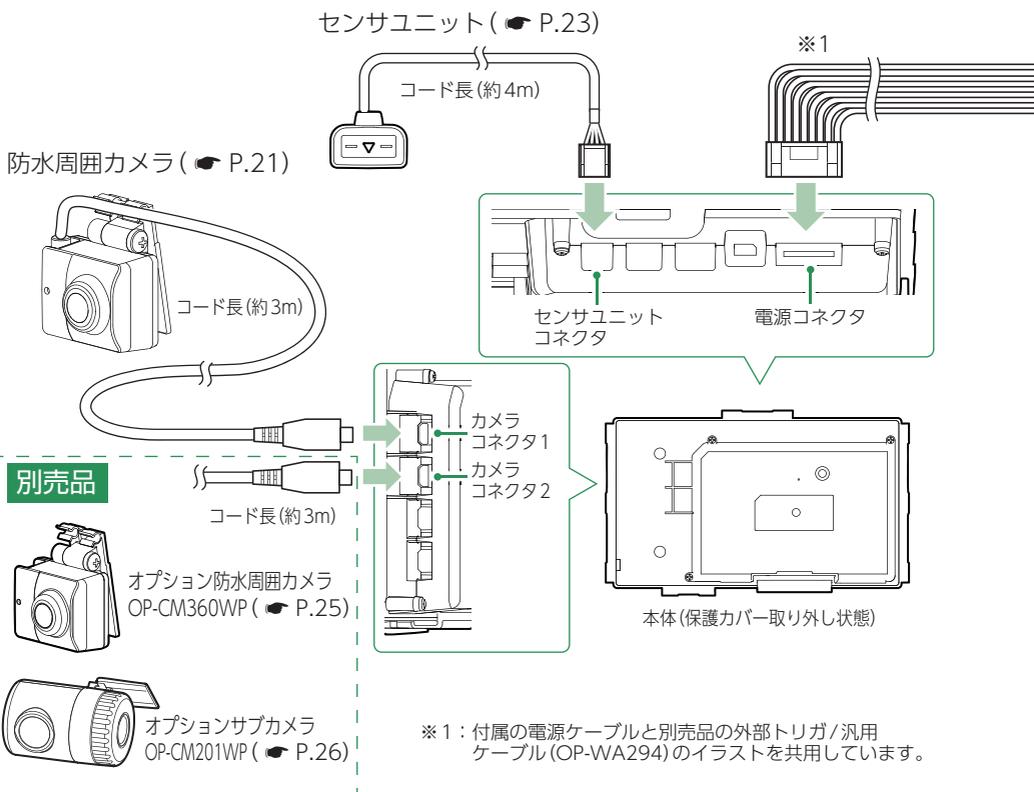
接続作業の前に…

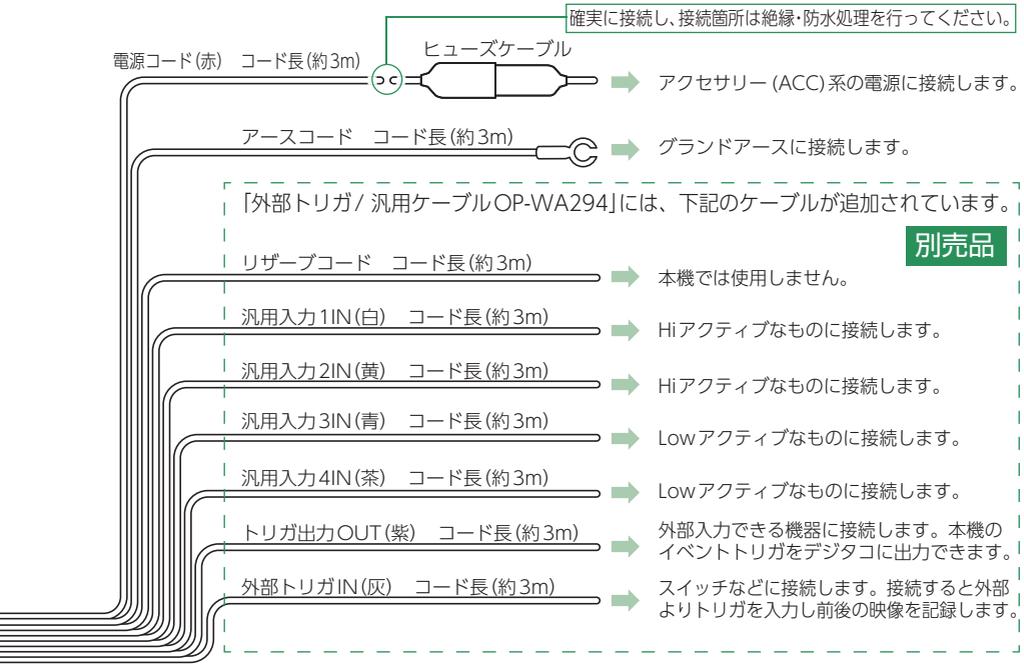
作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。

※ ラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

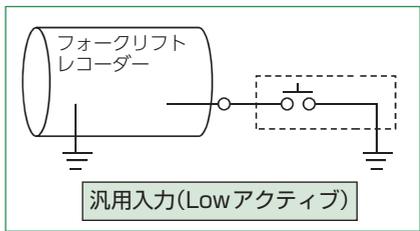
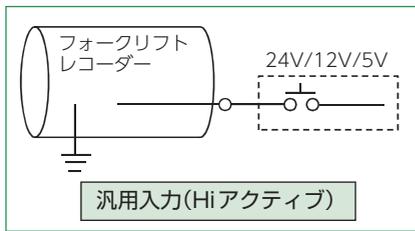
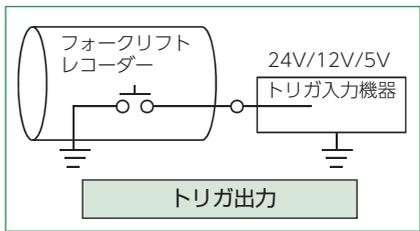
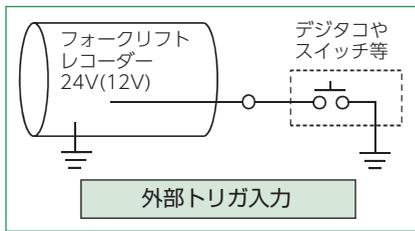
1. 接続方法

- 下図のようにそれぞれ正しく接続してください。
- 電源コード(赤)は、必ずエンジンキーのアクセサリ ON/OFF 操作と連動して電源が ON/OFF する配線に接続してください。
- アースコード(黒)は、グランドアースに接続してください。
- 走行中の振動などで配線が外れないようにしっかりと接続してください。
- 別売品の「外部トリガ/汎用入力ケーブル(OP-WA294)」を接続する場合、トリガ出力に ACC など、電源や別の出力信号を接続しないでください。
トリガ出力：オープンコレクタで最大 10mA





■ 別売品の「外部トリガ/汎用ケーブル」を接続する場合、下記の論理回路を接続します。



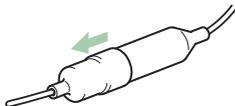
バックアップ機能について
 重大事故などで、衝撃を検知後に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、録画中の映像の破損を防いで保存します。

2. ヒューズの交換について

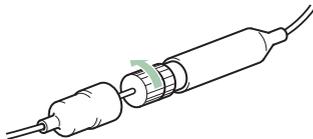
接続状態でエンジンをかけても、機器の電源が入らない場合は、ヒューズケーブルのヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

- ・接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ・下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
- ・ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

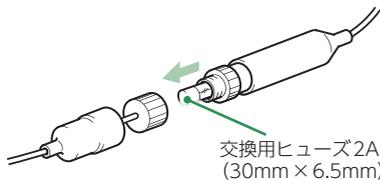
2-1 ヒューズケーブルのカバーを外す



2-2 ヒューズケーブルのフタを左に回し開く



2-3 ヒューズケーブルからヒューズを取り出す

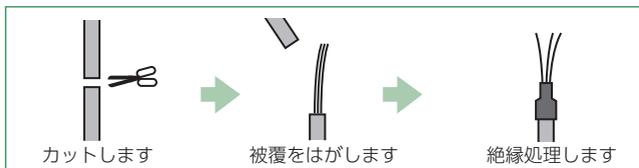


※ 交換時にヒューズを落下させないようにしてください。

■ ヒューズケーブルが長い場合は…

車両に合わせて切断することができます。また、付属の電源ケーブル、別売品の外部トリガ/汎用入力ケーブル(OP-WA294)も同様に切断することができます。

※ カメラケーブルは切断しないでください。



取り付けかた

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

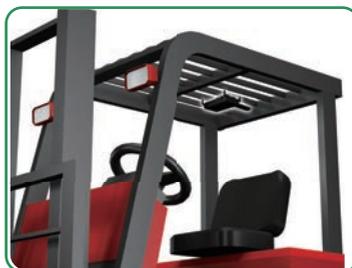
取り付けの注意

- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ルームミラー等の操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車両の操作や動作の妨げにならない場所に取り付けてください。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・密閉された場所など温度が上がりやすい位置への取り付けはしないでください。
- ・取り付け前に、取り付け位置でケーブルなどが接続できる位置か確認してから行ってください。

■ 防水周囲カメラ設置例



■ メインユニット設置例 1



■ メインユニット設置例 2



取り付けの注意

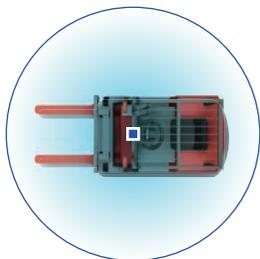
①付属 防水周囲カメラ

②別売品 オプションサブカメラ (OP-CM201WP)

③別売品 オプション防水周囲カメラ (OP-CM360WP)

■ ①または③をヘッドガードの天井に下向きに取り付け

■ ①または③をヘッドガードの柱または天井に前向きに取り付け



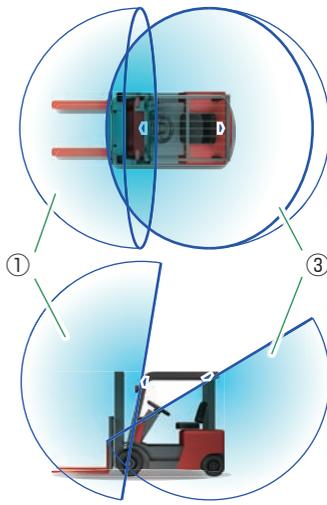
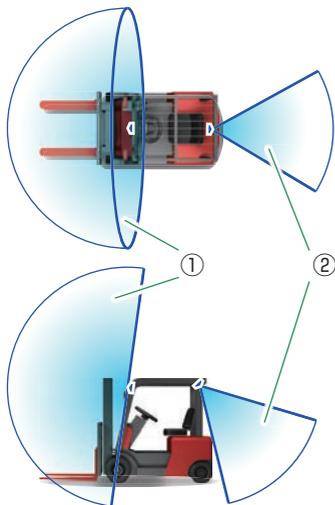
①または③のカメラひとつで、前後左右360°全周囲撮影できるので運転者が見ている方

向に対しての状況が一目でわかります。全体を把握することで危険予知の想定ができ、重大な事故にならないための教育に使用することができます。

また、縦方向の状況がわかるので、フォークリフトの先の状況とフォークリフトの下の状況を確認することで、どのような危険が潜んでいるか検証することもできます。

■ ①をヘッドガードの天井に前向き、②を後ろ向きに取付

■ ①をヘッドガードの天井に前向き、③を後ろ向きに取付

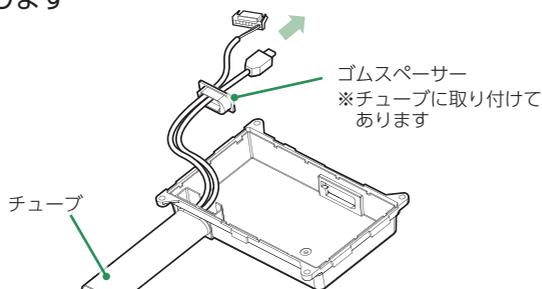


1. 防水周囲カメラの取り付け

取り付け場所の角度に合わせてカメラの角度を自由に調整できます。
あらかじめブラケットや、取り付け面の汚れや脂分をよく落とし、慎重に取り付け、車両外から貼り付け面にムラが無いことを確認してください。

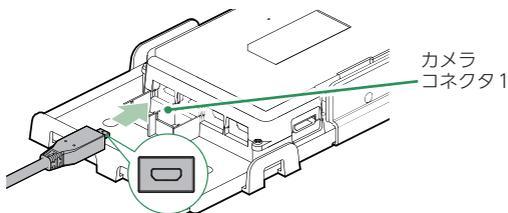
■ 例：ヘッドガードの天井に取り付ける場合

1-1 保護カバーのチューブとゴムスペーサーに防水カメラケーブルを通します



※ チューブは取り外すことはできません。

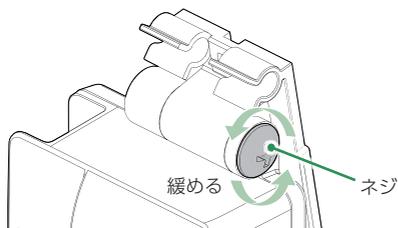
1-2 防水カメラケーブルを本体のカメラコネクタ1に挿し込む



※ カメラコネクタ1に防水周囲カメラと防水カメラケーブルが接続されていない場合、録画できません。必ず取り付けてください。

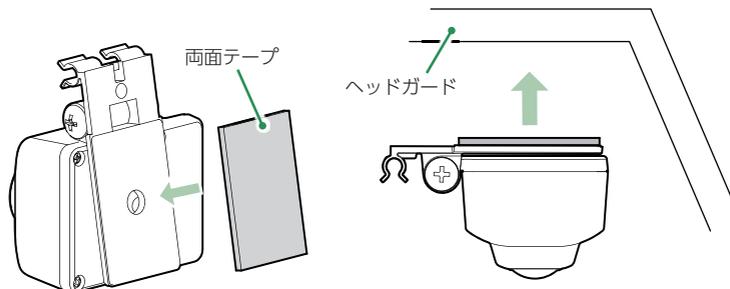
※ 防水カメラケーブルは上図の方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、防水カメラケーブルや防水周囲カメラの故障の原因となります。

1-3 防水周囲カメラのブラケットのネジを、市販品の+（プラス）ドライバーで緩める



※ ブラケットのネジは、工場出荷時に緩めにしてあります。緩めなくても調整できる場合があります。

1-4 防水周囲カメラのブラケットに付属の両面テープを貼り付け、ヘッドガードに取り付ける

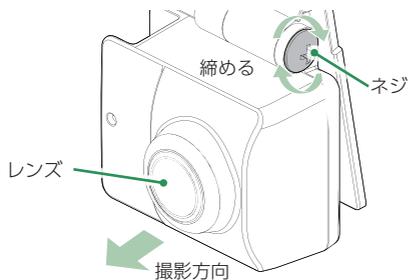


防水カメラケーブルが接続できる場所に取り付けてください。

※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。

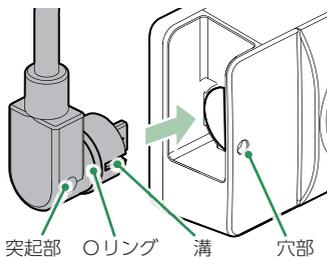
※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

1-5 レンズを撮影したい角度に向け、防水周囲カメラのブラケットのネジを市販品の+（プラス）ドライバーで締めて固定する



※ レンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

1-6 防水カメラケーブルを挿入口へ挿し込み、ケーブルを収納する



■ ケーブル接続時

- ・無理に誤った方向に入れた場合、防水カメラケーブルや防水周囲カメラの故障の原因となります。
- ・Oリングがしっかりと挿入されていないと防塵/防水機能が損なわれてしまいます。

■ ケーブル接続後

- ・突起部が穴位置に来ていることを確認してください。

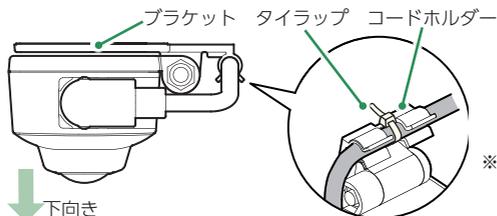
カメラケーブルの溝と挿入口のリブを合わせ、上図の方向へ正しく入れてください。

※ 本機は設定したカメラの接続状態を認識しているため、正しく接続されていないと、エラー音が鳴り録画が開始されません。

■ コードホルダーについて

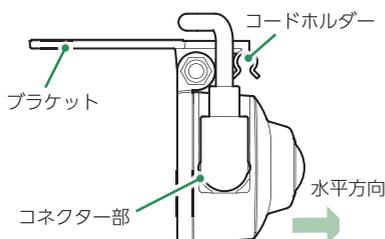
カメラを下向きに取り付けた場合に使用できます。

・下向き取り付け



※ タイラップでカメラケーブルをコードホルダーに固定してください。

・前向き取り付け



※ カメラケーブルをコードホルダーに固定すると、コネクター部が浮いて録画記録できなくなることがあります。コードホルダーにカメラケーブルを固定しないで配線してください。

2. センサユニットの取り付け

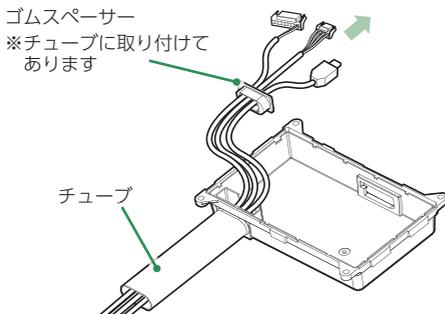
センサユニットを初めて取り付けるときや、設置場所を変更した場合は設置角度検出(●P.64)を必ず行ってください。

※ 走行中の振動が伝わるフレーム部などに取り付けてください。

※ 手や足などが当たらない場所に取り付けてください。

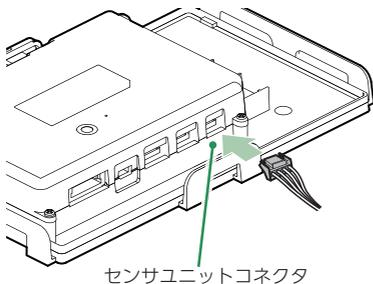
■ 例：運転席のシート下に取り付ける場合

2-1 保護カバーのチューブとゴムスペーサーにケーブルを通します



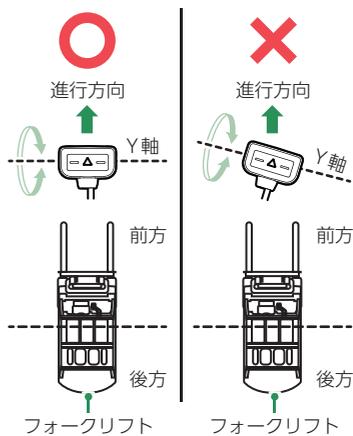
※ チューブは取り外すことはできません。

2-2 センサユニットのケーブルを本体のセンサユニットコネクタに挿し込む



※ センサユニットは上図の方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、センサユニットや本体の故障の原因となります。

2-3 本体のマーク(▲)を車両の前方方向に向け、運転席のシート下の金属部など車両の直接振動する場所に取り付ける



※ 車両とセンサのY軸を合わせてください。Y軸があてれば、Y軸基準に約80°まで回転させても問題ありません。

3. オプション防水周囲カメラの取り付け

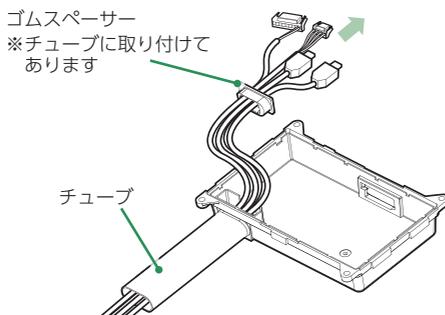
オプション防水周囲カメラ（OP-CM360WP）は別売品となります。別途ご購入いただくことで、2カメラの同時記録が可能です。

※ サブカメラの設定を変更しないと撮影ができません。（☛ P.60「サブカメラ」）

※ サブカメラの設定を[無効]にした場合、オプション防水周囲カメラは取り外してください。

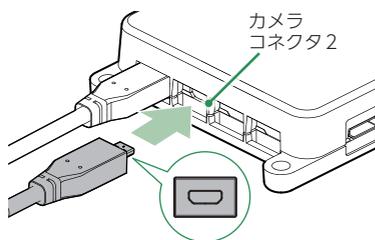
※ 別売品のオプションサブカメラ（OP-CM201WP）と同時使用はできません。

3-1 保護カバーのチューブとゴムスペーサーにケーブルを通します



※ チューブは取り外すことはできません。

3-2 オプション防水周囲カメラのケーブルを本体のカメラコネクタ2に挿し込む



※ カメラコネクタ1にカメラが接続されていない場合、録画できません。
付属の防水カメラケーブルと防水周囲カメラを必ず取り付けてください。

※ カメラケーブルは上図の方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、カメラケーブルやメインカメラの故障の原因となります。

3-3 以下の作業は防水周囲カメラ（IP56 準拠）の取り付け「1-3」からと同様になります。（☛ P.21）

4. オプションサブカメラの取り付け

オプションサブカメラ (OP-CM201WP) は別売品となります。別途ご購入いただくことで、2カメラの同時記録が可能です。

※ サブカメラの設定を変更しないと撮影ができません。(▶ P.60「サブカメラ」)

※ サブカメラの設定を[無効]にした場合、オプションサブカメラは取り外してください。

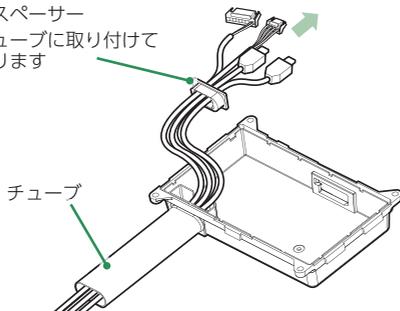
※ 別売品のオプション防水周囲カメラ(OP-CM360WP)と同時使用はできません。

■ 例：ヘッドガードの柱に取り付ける場合

4-1 保護カバーのチューブとゴムスペーサーにケーブルを通します

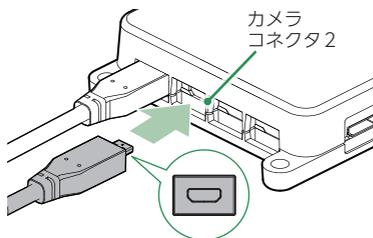
ゴムスペーサー

※チューブに取り付けてあります



※ チューブは取り外すことはできません。

4-2 オプションサブカメラのカメラケーブルを本体のカメラコネクタ2に挿し込む

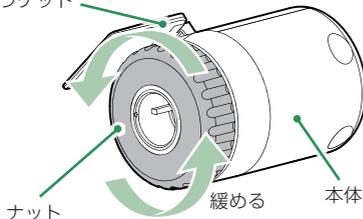


※ カメラコネクタ1にカメラが接続されていない場合、録画できません。付属の防水カメラケーブルと防水周囲カメラを必ず取り付けてください。

※ オプションサブカメラのケーブルは左図の方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、オプションサブカメラのケーブルやオプションサブカメラの故障の原因となります。

4-3 ナットを外し、本体からブラケットを取り外す

ブラケット

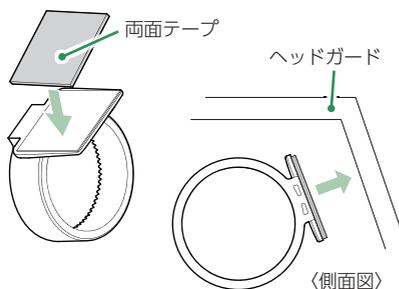


ナット

緩める

本体

4-4 ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、ヘッドガードに取り付ける

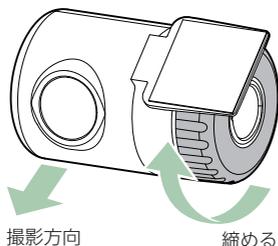


ブラケットにオプションサブカメラを装着したときに、オプションサブカメラのケーブルが接続できる場所に接続してください。

※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。

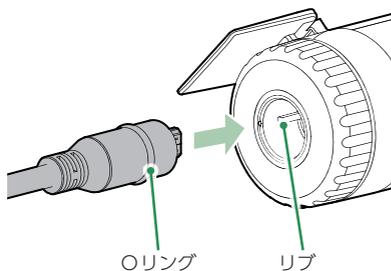
※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

4-5 ブラケットに本体を装着し、レンズを撮影したい角度に向け、ナットを締めて固定する。



※ カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

4-6 カメラケーブルを、カメラケーブル挿入口へ挿し込む



カメラケーブルの溝と、挿入口のリブを合わせ、下図の方向へ正しく入れてください。

※ 無理に誤った方向に入れた場合、カメラケーブルやメインカメラの故障の原因となります。

※ Oリングがしっかりと挿入されていないと防塵/防水機能が損なわれてしまいます。

5. 本体の取り付け

使用するケーブルをすべて取り付けてから本体の取り付けを行ってください。

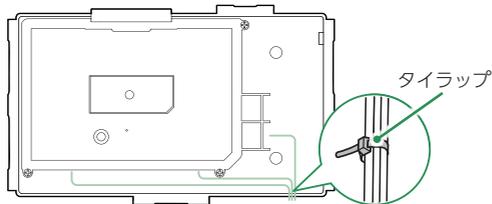
※ 万一脱落すると危険です。ブレーキペダルやアクセルペダルの上には、絶対に設置しないでください。

※ 市販品の両面テープなどを使用する場合は、必ず水平な面に設置してください。

※ 本機は防水仕様となっていますが、ケーブルを伝って雨などが侵入する恐れがあるため、保護カバーのチューブは下向きにするなど、水が入らない方向で取り付けてください。また、水がかかる恐れがあるところに取り付ける場合は、保護カバーのチューブの端をテープなどで巻いて、水の浸入を防いでください。

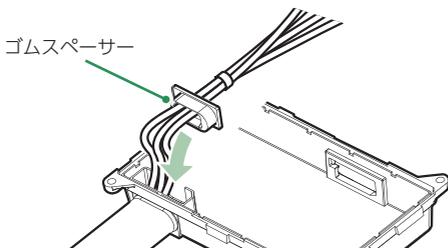
■ 例：運転席のシート下に取り付ける場合

5-1 ケーブルを付属のタイラップで固定する



※ ケーブルがたるんでいると、保護カバー取り付け時に挟む恐れがありますので、タイラップを束ねるときは、ケーブルをやや張り気味にして固定してください。

5-2 保護カバーのゴムスペーサーをチューブにはめ込みます



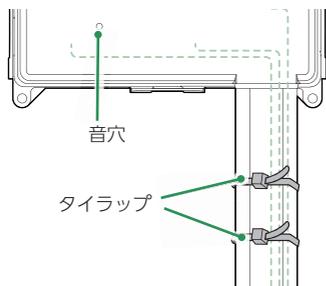
※ ゴムスペーサーには方向性があります。はめ込みにくい場合は、無理にはめ込まず180°回転させてはめ込んでください。

※ ゴムスペーサーは、チューブにねじれ等の力がかったときに、チューブが保護カバーからはがれないよう保護する部品です。ゴムスペーサーを取り付けない場合、チューブが保護カバーからはがれたり、切れたりする恐れがあります。必ず、取り付けてください。

5-3

保護カバーを取り付け、保護カバーのチューブとケーブルを付属のタイラップで固定する

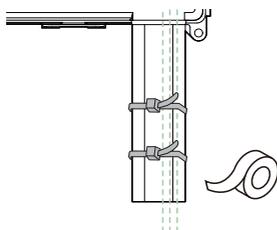
- ※ 本体のツメに無理な力をかけると、破損する恐れがあります。保護カバーの取り付け時は十分注意してください。
- ※ 保護カバー取り付け後は、ツメの浮きが無いように注意してください。ツメが浮いている場合は、保護カバーを上から押して確実にロックしてください。



※ 音穴を塞いでしまうと音が遮断され、録音やプザー音が小さくなりますので、注意してください。

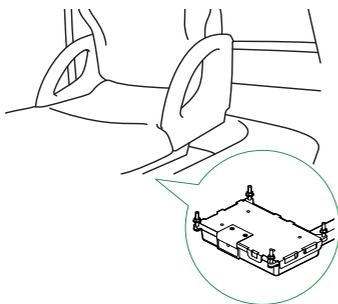
※ タイラップは、チューブの中央あたりから先端にかけて2～3箇所固定してください。

- ※ 保護カバーのチューブの先端を防水テープなどを巻いて、水が入りづらいように処理してください。



5-4

本体を付属の本体取り付け用ネジ(M4×25mm)・ワッシャー・ナットで固定する



- ※ 本体にはマイクが内蔵されているため、密閉された場所などへ設置すると、周囲の音が録音できない場合があります。
- ※ 取り付ける場所に関わらず、チューブは必ず下向きにしてください。チューブのすき間から水が浸入する恐れがあり、故障の原因となります。

専用ソフトのインストール

本機で記録した映像は、専用ソフトを使い、パソコンで見ることができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

■ 画像処理機能を動作させる場合

OS : Microsoft Windows 10、8、7

CPU: Core i5相当、3.0GHz以上

メモリ : 8GB 以上

DirectX9.0c以降のバージョン

(2021年4月現在)

- ※ 対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
- ※ 本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生するファイルの種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ 専用ソフトの画面サイズは1024 × 768 ピクセル固定です。
- ※ コントロールパネル内のディスプレイの設定が「100%」になっていないと起動することができません。
- ※ 本機の記録解像度は、最大200万画素ですが、専用ソフトで表示する場合は、画像処理で減少します。

1. 専用ソフトをインストール

弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

※ インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。 <https://www.yupiteru.co.jp/>

※ 誤って専用ソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ソフトをダウンロードしてください。

動作テスト

本機はSDカードの設定を読み込み、動作します。ご使用になる前に、必ず下記の手順で動作テストを行ってください。テストを行わない場合、正常に動作しないことがあります。

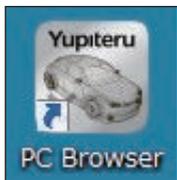
⚠ 注意



・パソコンやSDカードリーダーライターからSDカードを取り外す際は、お使いのパソコンやカードリーダーライターに付属の取扱説明書に沿って取り外してください。誤った手順で取り外すと、保存したデータが失われたり、SDカードを破損させてしまう恐れがあります。

1. 設置角度検出をする

1-1 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

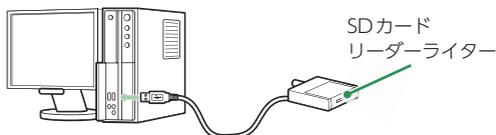


・専用ソフトが起動しない場合

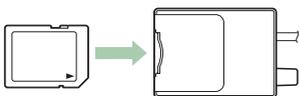
「DirectXの初期化に失敗しました」、「d3d9.dllがありません」、「xxx.dllが見つからなかった・・・」といったエラーに対処するには「DirectX Runtime」のアップデートが必要になります。

「DirectX エンドユーザーランタイム」で検索し、ダウンロードおよびインストールを行ってください。

1-2 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



1-3 付属の専用SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



SDカード

SDカードリーダーライター

※ ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

1-4 ファイルメニューの[ツール]→[機種選択]→[FDR]→[FDR-810]を選択する

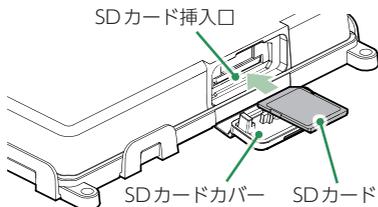


※ 間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

2. 本機の準備

設置角度検出を行いますので、フォークリフトを平らな場所へ移動させてから実施してください。

2-1 設定済みのSDカードを挿入する



- ・SDカードを挿入するときは…
 - P.12 「SDカードの装着/取り外し」

SDカードカバーが閉まっていないと防塵/防水機能が損なわれ故障の原因になりますので必ず、SDカードカバーが閉まっていることを確認してください。

2-2 車両のエンジンをONする

本機に電源が供給されると、録画が開始されます。

- ※ エンジンをONすると、設置角度検出を行いますので約10秒間車両を移動させないでください。
- ※ 本機から『ピー』と鳴る場合は、SDカードの挿入を確認してください。

■ エラーの症状と対処法

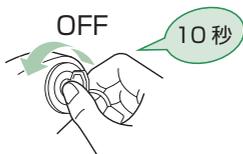
警告音	症状・対処法
『ピー』 と5秒間鳴る	<ul style="list-style-type: none">・カメラコネクタ1にカメラが正しく接続されていない。 (1カメラ使用時) 防水周囲カメラを正しく接続してください。(● P.21)・SDカードが挿入されていない。 付属のSDカードまたは、別売品のSDカードを挿入してください。
『ピーピーピー ピーピー』 と鳴り停止する	<ul style="list-style-type: none">・付属のSDカードのプロテクトスイッチがON(書き込み禁止)になっている。 車両のエンジンをOFFにし、10秒以上経ってから付属のSDカードを抜き取り、プロテクトスイッチをOFFにしてから再度挿入してください。(● P.13)・本機専用以外のSDカードが挿入されている。 車両のエンジンをOFFにし、10秒以上経ってから付属のSDカードを抜き取り、付属のSDカードもしくは別売品のSDカードを挿入してください。
『ブブブブ…』 と3秒間鳴り 停止する*1	<ul style="list-style-type: none">・センサユニットが本体に接続されていない。 センサユニットを本体に接続してください。(● P.23) ※ 専用ソフトの設定が[Gセンサ記録:[無効]、ジャイロセンサ記録:[無効]]になっている場合、センサユニットが接続されていなくても警告音は鳴りません。
『ブブブブ…』 と2秒間鳴り 停止する*1	<ul style="list-style-type: none">・カメラコネクタ1または、カメラコネクタ2にカメラが正しく接続されていない。(2カメラ併用時) 防水周囲カメラ、オプション周囲防水カメラまたは、オプションサブカメラを正しく接続してください。(● P.21、25、26) ※ 専用ソフトの設定が[サブカメラ:[無効]]になっている場合、カメラコネクタ2にカメラが接続されていなくても警告音は鳴りません。

※ 1：断続音のため、『ブルブルブル』と聞こえる場合もあります。

準備が終了したら…

本機の準備が終了したら、テストとして映像を記録します。

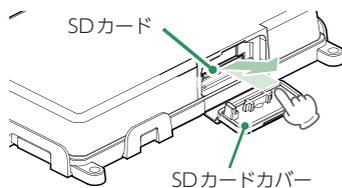
2-3 車両のエンジンをOFFにする



エンジンをOFFにしてから10秒間待ちます。

※ エンジンをOFFにしても、しばらくはSDカードにデータの書き込みが行われています。
SDカードの抜き差しは、エンジンOFF後10秒以上経ってから行ってください。

2-4 本機からSDカードを取り外す



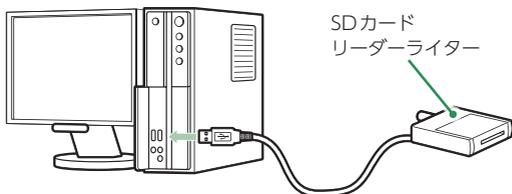
- ・SDカードを取り外すときは…
▶ P.12「SDカードの装着/取り外し」

テスト映像を記録したら…

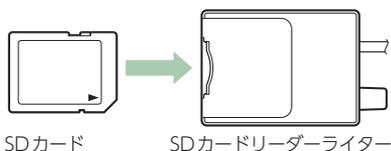
専用ソフトがインストールされているパソコンで映像の確認を行います。

3. テスト記録の確認

3-1 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する

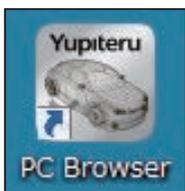


3-2 付属のSDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

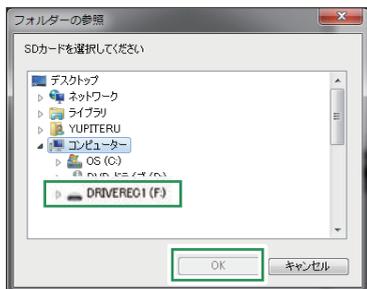
3-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



3-4 (フォルダ)をクリックする



3-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※ [ファイル]をクリックし[データフォルダを指定]から、[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

3-6 見たい録画データ名に を入れ、[読み込み]をクリックする



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

※ LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

テスト記録を確認したら…

テスト記録に問題が無ければ、[記録設定] (● P.60) をお好みの設定に変更して、SDカードを本機に戻してご使用を開始してください。

問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

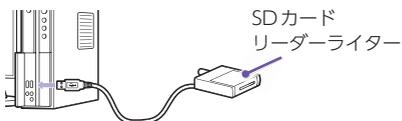
SDカードは数ヶ月に一度フォーマットが必要です。

SDカードは、データの記録が繰り返されると、録画可能時間が減少したり、データの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために、数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行うことをお勧めします。(● P.64 [SDカードフォーマット])

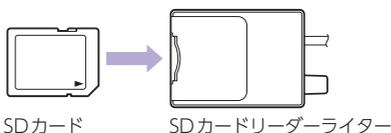
専用ソフトの使いかた

1. 録画データの準備

- 1-1 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



- 1-2 付属のSDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

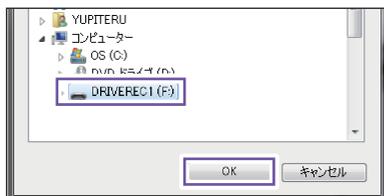
- 1-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



- 1-4 [] (フォルダ)をクリックする

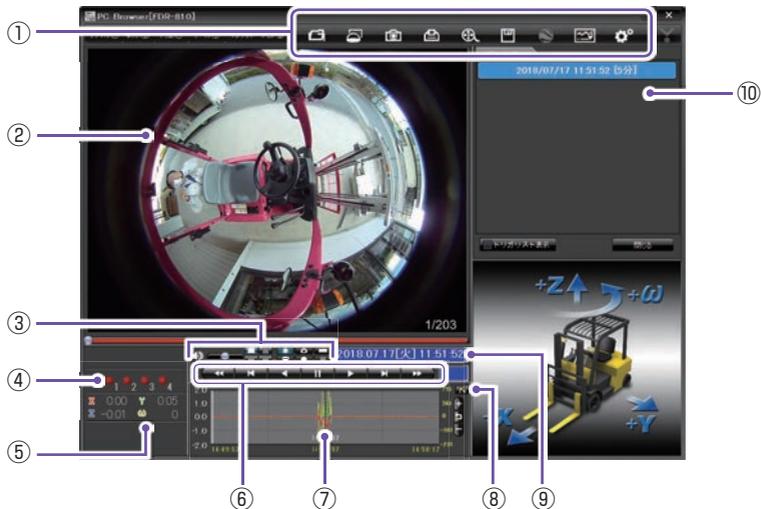


- 1-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※ [ファイル]をクリックし[データフォルダを指定]から、[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

2. 画面説明



No.	表示名	表示の意味
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		周囲カメラ表示を変更できます。(☛ P.39)
		静止画に変換します。(☛ P.50)
		印刷をします。(☛ P.57)
		動画変換します。(☛ P.49)
		データのバックアップをします。(☛ P.48)
		本機では使用しません。
		レポート表示します。(☛ P.51)
		記録設定の変更をします。(☛ P.60)
②	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。 (☛ P.41「表示エリアの操作」)
③	音量/表示切替ボタン	音量の調節/魚眼表示、拡大フラット表示、パノラマ表示、リング型表示、ドーム型表示の切替。(☛ P.39) サブカメラ操作(オプション防水周囲カメラ、オプションサブカメラ接続設定時)
④	汎用入力表示	増設信号の入力状態を表示します。 (外部トリガ/汎用入力ケーブル接続時)
⑤	加速度表示	記録されている衝撃(加速度)の値を、前後(X方向:赤色)、左右(Y方向:黄緑色)、上下(Z方向:青色)、回転(ω 方向:黄色)で表示します。
⑥	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。

⑦	加速度センサー グラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。
⑧	NIGHT(ナイト) モードボタン	映像を明るく表示します。  : ON、  : OFF
⑨	日付・時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑩	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。

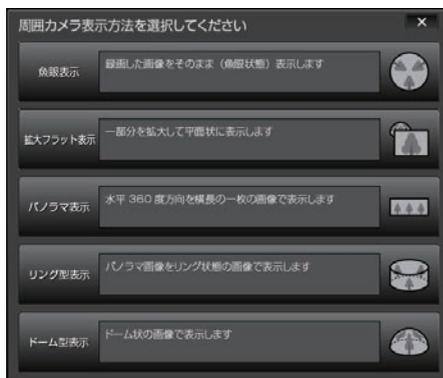
3. 表示方法の種類

 ボタンをクリックすると周囲カメラ表示方法選択画面が表示され、表示方法を選択することができます。また、表示切替ボタン () をクリックすることでも表示方法を変更できます。

※ メニューバーから変更する場合は、[表示]→[周囲カメラ]から選択してください。

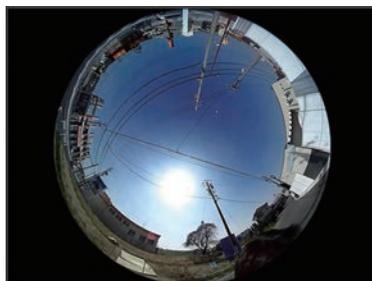
※ 周囲カメラの表示変更は、付属の防水周囲カメラまたは、別売品のオプション防水周囲カメラ(OP-CM360WP)で撮影されたデータにのみ対応しており、オプションサブカメラ(OP-CM201WP)で撮影されたデータについては意図した通りの周囲カメラ表示はできません。

■ 周囲カメラ表示変更画面



・魚眼表示 ()

録画した画像そのまま(魚眼状態)で表示します。



・拡大フラット表示 ()

一部を拡大して平面状に表示します。



・パノラマ表示 ()

水平 360度方向を横長の一枚の画像で表示します。



- ・リング型表示()
パノラマ画像をリング状の画像で表示します。



- ・ドーム型表示()
ドーム状の画像で表示します。



■ 1画面表示/複数カメラ別画面表示

表示切替ボタン()の  をクリックするたびに、1画面表示と複数カメラ別画面表示を切り替えます。

[表示] → [画面表示] から [1画面表示] [複数カメラ別画面表示] をクリックしても同様の動作となります。

※ サブカメラ(オプション防水周囲カメラ、オプションサブカメラ)で録画を行っていない場合、[複数カメラ別画面表示]は選択できません。



1画面表示



複数カメラ別画面表示

■ 16分割表示/複数カメラ表示

メニューバーの [表示] → [画面表示] から [16分割表示] [複数カメラ表示] をクリックして画面表示を切り替えます。

複数カメラ表示にした場合、表示切替ボタン(※1)が変わります。  ボタンをクリックすると、「1画面表示」と「複数カメラ表示」を切り替え、  ボタンをクリックするとサブカメラの再生場所を移動できます。

※ サブカメラ(オプション防水周囲カメラ、オプションサブカメラ)で録画を行っていない場合、[複数カメラ表示]は選択できません。



< 16分割表示 >



< 複数カメラ表示 >

4. 表示エリアの操作

表示エリアでは下記の操作が行えます。

■ 画像表示エリアメニュー

マウスの右クリックで[画面表示エリアのメニュー]を表示します。



- ・画像状態
画像の回転角度を表示します。
- ・標準に戻す
拡大した画像や回転・反転した画像を初期表示に戻します。

・画面操作

画像の範囲拡大、移動、回転の操作ができます。

〈範囲拡大〉

範囲拡大に を入れ、範囲を指定することで、拡大表示します。

マウスの左ボタンで拡大したい部分をドラッグします。

点線部分が範囲選択部分です。



マウスポインター



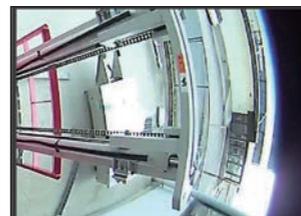
〈移動〉

移動に を入れ、拡大表示した画像の表示位置を移動します。

マウスの左ボタンをドラッグし、表示させたい部分まで移動します。



マウスポインター

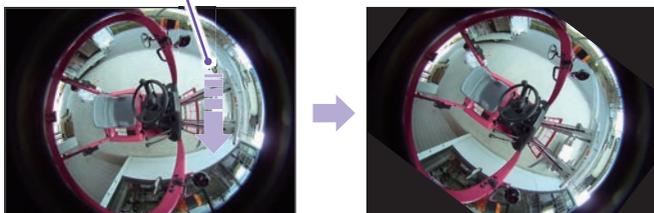


※ 拡大表示していない場合、[画面移動]はできません。

〈回転〉

回転に を入れ、画像を回転します。
マウスの左ボタンをドラッグし、回転します。

マウスポインター



表示を元に戻す場合は、右クリックで「画像表示エリアメニュー」を表示させ、[標準に戻す]を選択します。

・反転

[左右反転]をクリックすると、画像を左右に反転します。

[上下反転]をクリックすると、画像を上下に反転します。



左右反転



上下反転

・拡大・縮小

[拡大]をクリックすると、表示画像の中央を基準に画像を200%拡大します。

[縮小]をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を50%縮小します。

・回転(角度指定)

[時計回り]をクリックし、角度を入力すると画像が時計回りに回転します。

[反時計回り]をクリックし、角度を入力すると画像が反時計回りに回転します。

・周囲カメラ表示調整

[標準に戻す]をクリックすると周囲カメラで表示する範囲の中心・大きさを初期値に戻します。

[移動]をクリックし、マウス左ボタンをドラッグして周囲カメラで表示する範囲の円の中心(+)を変更します。

※ 円の範囲は変わりません

[大きさ]をクリックし、マウスの左ボタンをドラッグして周囲カメラで表示する円の範囲を変更します。

※ 円の中心は変わりません



中心

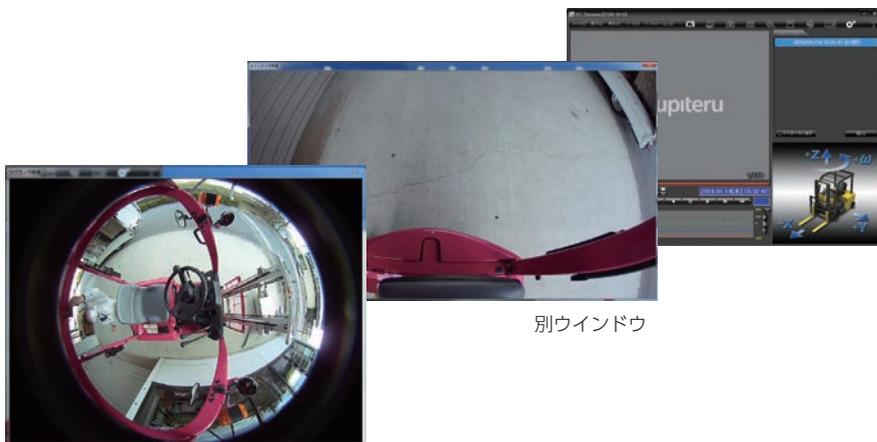
範囲

・NIGHTモード

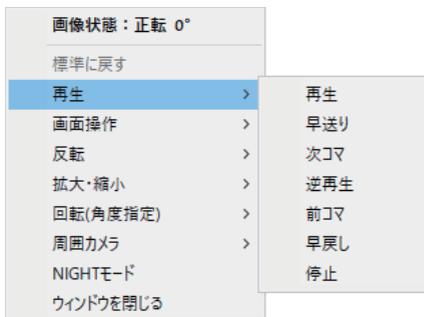
映像を明るく表示します。

・別ウィンドウで表示

表示エリアの映像をブラウザとは別に表示します。



別ウィンドウ



・再生

別ウィンドウ内で右クリックすると、映像の再生・停止などを操作することができます。

記録した映像を再生する

1. 録画データを再生する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする



1-2 見たい録画データ名に を入れる



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

1-3 [読み込み] をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [イベント] をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-4 再生する

 ボタンをクリックすると再生します。

■ 映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



・ [再生] をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止] をクリックすると、クリックした動作を行います。

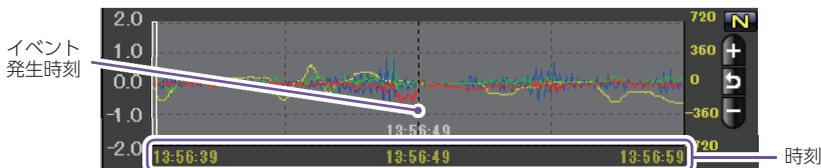
■ ◀▶ や ◀▶▶▶ ボタンを複数回クリックすることで、再生速度を変更できます。

- ◀▶ を1回クリックすると1倍速(通常速度)、2回クリックすると0.5倍速(スロー)で[再生]または[逆再生]できます。
- ◀▶▶▶ を1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で[早送り]または[早戻し]できます。

■ 加速度センサー表示は ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、 ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

- [表示] → [加速度センサースケール] から [拡大] [標準] [縮小1] [縮小2] を選択、操作しても同様の動作となります。
- エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、再生ボタンで確認ができます。



加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度(縦軸)と時間(横軸)でグラフ表示します。

■ 汎用入力情報

- 別売品の外部トリガ/汎用入力ケーブル(OP-WA294)を接続することで、汎用入力情報を記録できます。(☛ P.16)
- 信号が入力されると入力された番号が点灯します。



イベント記録のデータ名について

衝撃を検知した日付、時間がデータ名となります。

2018 / 07 / 17 11 : 53 : 54 衝撃
年 月 日 時 分 秒 トリガ(映像を記録するきっかけ)

● トリガ

衝撃を検知して記録した場合は「衝撃」「急発進/急ブレーキ」「急ハンドル」「急旋回」と表示されます。

※ トリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。

2. 録画データを再生する(常時録画)

2-1 常時録画をクリックする



2-2 見たい録画データ名に を入れる



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

2-3 [読み込み]をクリックする

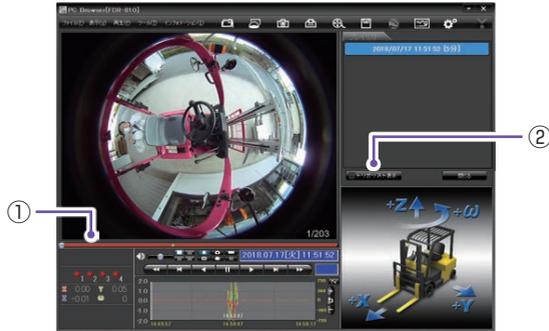
※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル]をクリックし[読み込み]から[常時録画]をクリックしても同じ画面表示になります。

2-4 再生する

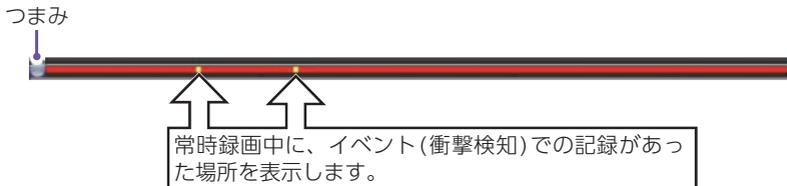
 ボタンをクリックすると再生します。

■ 画面表示について



No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン	常時録画中のイベント位置 (衝撃検知位置) を表示します。

■ つまみをスライドさせ  ボタンをクリックすると、その場所から再生できます。



■  トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのリスト表示に切り替えることができます。



リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。

常時録画のデータ名について

日付、時間、期間がデータ名となります。

2018 / 07 / 17 14 : 49 : 08 [1分]
 年 月 日 時 分 秒 期間(映像の記録時間)

記録した映像を保存する

SDカード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

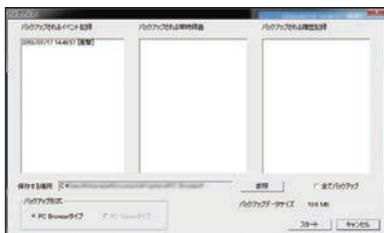
1. バックアップ

SDカードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除 (● P.66) を行ってください。

1-1 データ名の一覧より、保存したい録画データ名に を入れ、[読み込み]をクリックする

1-2  (バックアップ)をクリックする



※ [ツール]をクリックし[バックアップ]をクリックしても同じ画面表示になります。

※ [全てバックアップ]に を入れるとSDカードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

1-3 保存先を指定し、[スタート]をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

1-4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

終了するときには、[OK]をクリックします。

※ PC Browser タイプで保存した場合フォルダ内に「バックアップ年月日_バックアップ時刻」のフォルダが作成され、その中に「データ年月日_データ時刻.bak」ファイルが作成されます。

2. 動画変換

記録されたデータをAVI形式の動画に変換して保存できます。

※ 周囲カメラ表示方法が「リング型表示」または「ドーム型表示」の場合は、「魚眼表示」と同じ表示で変換されます。

動画変換した映像をみる

動画変換して保存したファイルはMicrosoft Media Player Ver12.0以上で再生できます。

2-1 データ名の一覧より、動画変換したい録画データ名に を入れ、**[読み込み]**をクリックする

※ サブカメラが同時に記録されている場合、動画がメインカメラ、サブカメラで作成されます。

2-2 (動画変換)をクリックする

※ [ツール]をクリックし、[動画変換]をクリックしても同じ画面表示になります。

2-3 変換区間、圧縮形式、字幕、保存先やファイル名を指定し、**[スタート]**をクリックする



・変更区間について

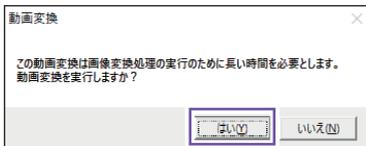
全て変換するの を外すと変換区間を指定できます。

・字幕について

[日時指定]などに を入れると、選択した情報を動画上に表示します。

※ 画像圧縮形式を[H.264]にした場合、字幕は保存されません。

2-4 **[はい]**をクリックする



2-5 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

[OK]をクリックすると動画変換の画面に戻ります。指定した保存先に*.aviファイルが保存されます。

※ *部には、映像を記録した日時とカメラ番号か、指定した名称が入ります。

2-6 終了するときは**[閉じる]**をクリックする

3. 静止画変換

表示エリアに表示されている映像をJPEG形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、[表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択します。

※ 周囲カメラ表示方法が「リング型表示」または「ドーム型表示」の場合は、「魚眼表示」と同じ表示で変換されます。

静止画変換した映像をみる

静止画変換しJPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

3-1 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に を入れ、**[読み込み]**をクリックする

3-2  **(静止画変換)**をクリックする

※ [ツール]をクリックし、[静止画変換]をクリックしても同じ画面表示になります。

3-3 [表示中の静止画すべて]、または[コマ数指定]を選択し、お好みの保存先を指定し、**[スタート]**をクリックする



※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数 (● P.60) が反映されます。

※ 静止画枚数は秒×コマ数になります。

・表示中の静止画像すべて

1画面表示で静止画変換を行った場合は1枚、16分割表示から静止画変換を行った場合は、表示されている16画面の映像すべてを静止画に変換できます。

・コマ数指定 (選択した静止画から)

表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

<秒間>

範囲指定された、表示エリアの映像の長さ (秒) を表示しています。

<コマ/秒>

1秒間を何コマで分割するかを設定します。

3-4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

[OK]をクリックすると静止画変換の画面に戻ります。

3-5 終了するときは**[閉じる]**をクリックする

レポート表示する

レポートを作成し表示することができ、またレポートを印刷することもできます。

※ 一度に複数のレポートは表示できません。

1. レポートを表示(印刷)する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする



1-2 表示したい録画データ名にを入れる



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

1-3 [読み込み]をクリックする



※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

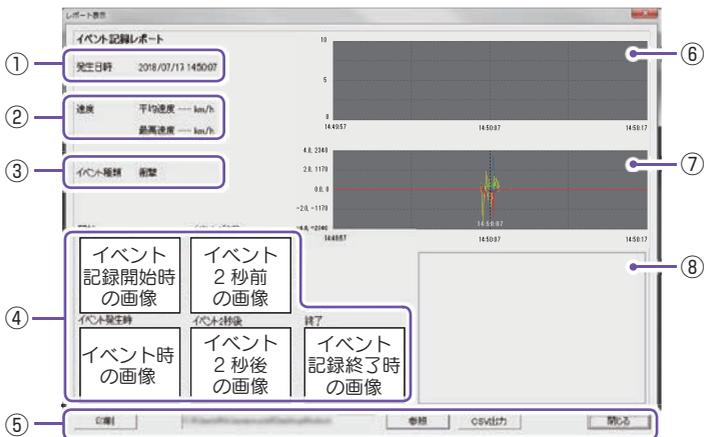
※ [ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-4 表示したい録画データを選択し、 (レポート表示)をクリックする



イベント記録レポートが表示されます。



No.	表示名	表示の意味	
①	発生日時	イベント発生日時を表示します。	
②	速度	本機では表示しません。	
③	イベント種類	イベントの種類を表示します。	
④	画像	録画データの開始/終了時、イベント発生時とその前後2秒の画像を表示します。	
⑤	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑥	速度グラフ	本機では表示しません。	
⑦	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)	
⑧	地図	本機では表示しません。	

1-5 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

■ 印刷プレビュー表示例



プレビュー画面が表示されます。

・ ボタンの機能

ボタン	表示の意味
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

2. レポートを表示(印刷)する(常時録画)

2-1 常時録画をクリックする



2-2 表示したい録画データ名に を入れる



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

2-3 [読み込み]をクリックする



※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

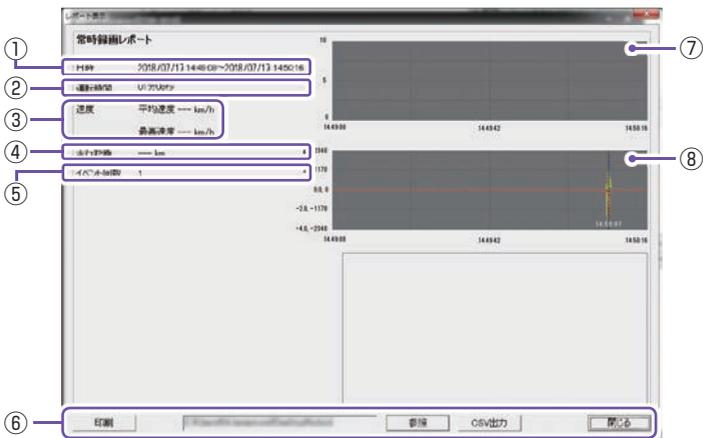
※ [ファイル]をクリックし[読み込み]から[常時録画]をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

2-4 表示したい録画データを選択し、 (レポート表示)をクリックする



常時録画レポートが表示されます。



No.	表示名	表示の意味	
①	日時	録画データの日時を表示します。	
②	運転時間	運転時間を表示します。	
③	速度	本機では表示しません。	
④	走行距離	本機では表示しません。	
⑤	イベント回数	イベント回数を表示します。	
⑥	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑦	速度グラフ	本機では表示しません。	
⑧	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。 (縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)	
⑨	地図	本機では表示しません。	

2-5 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

■ 印刷プレビュー表示例



プレビュー画面が表示されます。

・ ボタンの機能

ボタン	表示の意味
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

3. レポートを表示(印刷)する(履歴記録)

※ 初期値では[--]に設定されているため、履歴記録はしません。履歴記録を行う場合は、履歴記録時間の設定を[--]以外に変更してください。(● P.60)

3-1 履歴記録をクリックする



3-2 表示したいデータ名にを入れる



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

3-3 [読み込み]をクリックする



※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

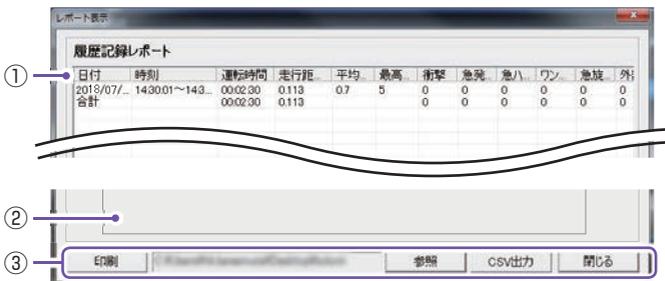
※ [ファイル]をクリックし[読み込み]から[常時録画]をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

3-4 表示したいデータを選択し、 (レポート表示)をクリックする



履歴記録レポートが表示されます。

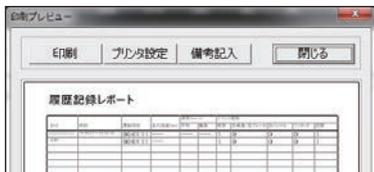


No.	表示名	表示の意味	
①	日付	記録年月日を表示します。	
	時刻	記録開始から終了の時刻を表示します。	
	運転時間	運転時間を表示します。	
	走行距離	本機では表示しません。	
	平均速度	本機では表示しません。	
	最高速度	本機では表示しません。	
	衝撃	「衝撃」イベントの回数を表示します。	
	急発進/急ブレーキ	「急発進/急ブレーキ」イベントの回数を表示します。	
	急ハンドル	「急ハンドル」イベントの回数を表示します。	
	ワンタッチ	本機では表示しません。	
	急旋回	「急旋回」イベントの回数を表示します。	
	外部トリガ2 ^{*1}	「外部トリガ」イベントの回数を表示します。	
回数	イベント回数の合計を表示します。 その他のイベントも含まれます。		
②	地図	本機では表示しません。	
③	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。

※ 1:別売品の「外部トリガ/汎用入力ケーブル(P.11)」の外部トリガを接続している場合にイベントの回数を表示します。

3-5 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

■ 印刷プレビュー表示例



プレビュー画面が表示されます。

・ ボタンの機能

ボタン	表示の意味
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

記録した映像を印刷する

1. 記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

- 1-1** データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に を入れ、[読み込み]をクリックする

※ 表示エリアの操作 (● P.41) で映像を回転させると、回転した状態の映像を印刷できます。

- 1-2**  印刷をクリックする

※ [ファイル]をクリックし、[印刷]をクリックしても同じ画面表示になります。

- 1-3** [表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択する



- ・表示中の静止画すべて
表示エリアの映像を印刷します。16分割で表示されているときは、表示されている16枚の印刷を行います。
- ・コマ数指定
表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数 (● P.60) が反映されます。

※ 印刷枚数は秒×コマ数になります。

- 1-4** [確認]をクリックする



- ・印刷
印刷枚数を選択します。[OK] をクリックすると印刷を行います。
- ・プリンタ設定
印刷するプリンタの設定を行います。
- ・1コマ表示
1枚に1コマの映像データを表示します。
- ・4コマ表示
1枚に4コマの映像データを表示します。

- 1-5** 終了するときは[閉じる]をクリックする

履歴記録を見る

1. 履歴記録を見る

本機の電源が入っている間に設定した時間分 (P.60) の履歴 (ログデータ) をSDカードに保存します。

※ 初期値では [---] に設定されているため、履歴記録はしません。履歴記録を行う場合は、履歴記録時間の設定を [---] 以外に変更してください。 (P.60)

※ 合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

1-1 [履歴記録] をクリックする



1-2 データ名の一覧より、見たいデータ名に を入れる

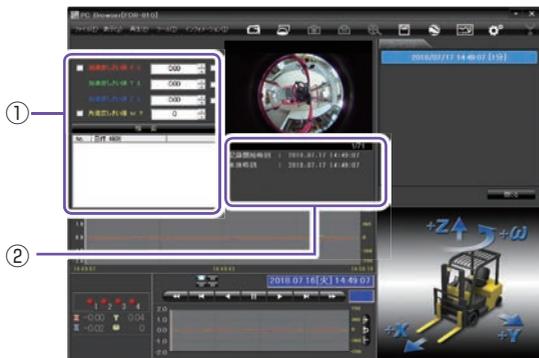


※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

1-3 [読み込み] をクリックする

■ 画面表示について



No	表示名	表示の意味
①	検索	加速度の値を設定し、検索することができます。
②	データ情報(記録開始時刻、時刻)	映像の記録日などの情報を表示できます。

■ 検索

履歴の中から設定した値を越える衝撃（加速度）の映像を検索でき、データとして表示します。



- ・ を入れ、任意の数字を入力してください。
- ・ 検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

No	表示名	表示の意味
①	加速度しきい値 X ±	検索したい前後方向の値を設定します。
②	加速度しきい値 Y ±	検索したい左右方向の値を設定します。
③	加速度しきい値 Z ±	検索したい上下方向の値を設定します。
④	角速度しきい値 ω ±	検索したい回転方向の値を設定します。

■ データ情報

読み込まれたデータ名の記録開始時刻、表示している周囲の時刻を表示します。

記録開始時刻 : 2018-07-17 14:49:07
 本体時刻 : 2018-07-17 14:49:07

- ・ 本体時刻
データ情報や録画データ名等には、本体に内蔵されている時計の時間が用いられます。

設定を変更する

設定を変更する前に、「使用機種(P.63)」の「SDカードの設定」が「FDR-810」になっているかを確認してください。

※ 間違った機種選択をした場合、本機は正常に動作しません。



設定変更を行う場合は必ずSDカードをSDカードリーダーライターに接続してご使用ください。設定内容はSDカードに保存されます。

SDカードを本機に戻し、本機の電源がONすると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。

1. 記録設定

（記録設定）をクリックすると、各種の設定変更やSDカードの初期化や録画データのバックアップ、SDカードからの録画データの削除を行うことができます。

※ [ツール]をクリックし[記録設定]をクリックしても同じ画面表示になります。

■ 録画方法

録画する方法を[常時録画][イベント記録][常時+イベント]から選択できます。

※ 初期値は[常時+イベント]に設定されています。

常時録画	エンジン始動時からエンジン停止直前までの映像をSDカードに記録します。(30コマ/秒、1080P(1920×1080))で、付属のSDカード(8GB)に約120分の常時録画が可能です。 ※ [常時録画]に設定した場合、イベント記録の映像は記録されません。ただし、イベント検出されたことは、常時録画の録画データ内にトリガとして記録されます。
イベント記録	衝撃を検知した場合に映像を記録します。
常時+イベント※1	常時録画を行いながら衝撃を検知した場合、映像を別のデータで記録します。

※ 1: メインカメラを[解像度:[1080P(1920×1080)], 録画コマ数:[30コマ/秒]]に設定し、サブカメラを[[有効]、解像度:[1080P(1920×1080)]]に設定した場合、録画方法の[常時+イベント]は選択できません。

※ 1: 「イベント記録コマ数」が表示されます。

記録形式変更時の注意

すでにSDカードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合([常時録画] から [イベント記録] への変更など) は、SDカードに記録されている録画データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。

設定を変更する場合は、SDカードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。(● P.48)

削除した録画データは、元に戻せませんのでご注意ください。

■ 解像度

記録する映像の解像度を選択できます。

※ 初期値は[1080P(1920×1080)]に設定されています。

解像度	1080P(1920×1080)、1080P(1440×1080)、720P(1280×720)、VGA(640×480)
-----	---

■ 録画コマ数

記録する映像のコマ数を選択できます。

※ 初期値は[30コマ/秒]に設定されています。

録画コマ数	30,15,10,5,1コマ/秒、2,1コマ/分、12,6コマ/時*1
-------	-------------------------------------

※ 1: メインカメラの録画コマ数を[2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります。

■ 使用カメラ

使用しているカメラを[標準][周囲]から選択できます。

※ 初期値は[周囲]に設定されています。

標準	別売品のオプションサブカメラ(OP-CM201WP)を接続時に設定します。
周囲	付属の防水周囲カメラ、別売品のオプション防水周囲カメラ(OP-CM360WP)を接続時に設定します。

■ イベント記録時間

イベント記録時間を設定します。

衝撃検知前の時間(秒)と衝撃検知後の時間(秒)の組み合わせを選択できます。

※ 初期値は[10,10 [20秒]]に設定されています。

※ サブカメラを[有効]にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によっては、選択できない項目があります。詳細は ● P.78を参照してください。

イベント記録時間	60秒(30,30) (40,20) (50,10)、50秒(30,20) (25,25) (40,10) 40秒(20,20) (25,15) (30,10)、30秒(18,12) (20,10) (25,5) 20秒(10,10) (12,8) (15,5)
----------	---

■ 音声記録

音声も記録する場合に[ON]にします。

※ 初期値は[ON]に設定されています。

■ 履歴記録時間

24時間、168時間、480時間のログ(加速度/時間)を記録します。

---(OFF)では履歴記録は行いません。

※ 初期値は[---]に設定されています。

■ 履歴記録コマ数

1秒間に記録する履歴記録のコマ数を[1コマ/秒][2コマ/秒]から選択できます。

※ 初期値は[1コマ/秒]に設定されています。

■ サブカメラ有効/無効

別売品のオプション防水カメラ(OP-CM360WP)、オプションサブカメラ(OP-CM201WP)を接続し、録画を行う場合に[有効]にします。解像度・録画コマ数はメインカメラ以下で選択できます。

※ 初期値は[無効]に設定されています。

※ サブカメラ設定を[有効]にした場合、イベント記録時間がメインカメラのみで記録した場合と異なります。
(☛ P.78)

■ 上書きモード

SDカードの空き容量が不足したときの映像や履歴の保存方法を選択できます。

[ON]または[OFF]から選択します。

ON	SDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。
OFF	容量がいっぱいになると映像は保存されません。

※ 初期値はすべての録画方法で[ON]に設定されています。

2. システム

■ ビープ音

イベント記録時のビープ音のON/OFFを設定できます。

※ 初期値は[ON]に設定されています。

■ SDカードID

SDカードIDを設定できます。SDカードIDと本機IDをログに書き込むことでSDカードと本機の管理に役立てることができます。

■ パスワード

設定を変更できないように、パスワードを設定できます。(1000 ~ 9999の4桁)

■ 日時設定

に を入れ、日付や時刻を設定できます。

※ 本機の電源ONするとSDカードから読み込み、日時を修正します。

現在時刻ではなく、次に本体を電源ONする日付や時刻を想定して設定してください。

また、時刻がずれる場合がありますので定期的に行ってください。

■ 使用機種

使用する機種を選択できます。

※ 操作手順は、● P.71 「SDカードの機種設定を変更する」を参照してください。

3. 衝撃感度設定

■ Gセンサー記録

Gセンサー記録の[有効]、[無効]を切り替えます。(● P.15 「イベント記録」)

※ 初期値は[有効]に設定されています。

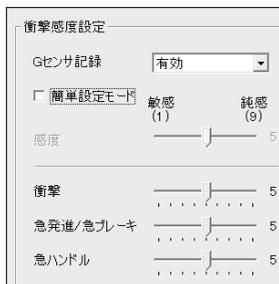
※ [有効]にした場合、[常時録画]に設定していても、衝撃検出を行い、常時録画の録画データにトリガのみマークします。

※ [無効]にした場合、すべての録画方法において、Gセンサー記録を行いません。

■ 簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。

敏感(1)～鈍感(9)までの9段階から設定できます。工場出荷時は[5]に設定されています。



感度レベル	動作・使用条件
1 (敏感)	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
↑ ↓	標準設定 (基本的に事故のみを記録)
	通常運転時に反応してしまう場合
9 (鈍感)	

※ 車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

簡単設定モードの を外すと衝撃、急発進/急ブレーキ、急ハンドルの各感度を敏感～鈍感までの9段階から個別に設定できます。

■ ジャイロセンサー記録

ジャイロセンサー記録の[有効]、[無効]を切り替えます。(● P.15 「イベント記録」)

※ 初期値は[有効]に設定されています。

※ [有効]にした場合、[常時録画]に設定していても、衝撃検出を行い、常時録画の録画データにトリガのみマークします。

※ [無効]にした場合、すべての録画方法において、ジャイロセンサー記録を行いません。

衝撃感度を選択できます。

敏感(1)～鈍感(9)までの9段階から設定できます。工場出荷時は[5]に設定されています。



各設定を終えたら[OK]をクリックします。

「現在の設定を保存しますか」と表示されますので、[OK]をクリックしてください。

- ・加速や減速、路面の凹凸などに反応(本機から『ピー』と鳴る)しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。
- ・感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ・動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

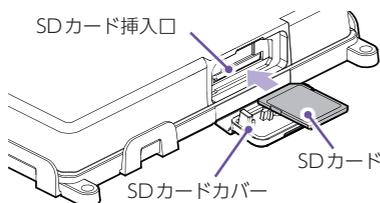
■ 設置角度検出を実行

センサユニットを初めて取り付けたり、設置場所を変更した場合は設置角度検出を実行してください。

3-1 [設置角度検出を実行]に を入れ[SDカードへ保存]をクリックする

設置角度検出を実行

3-2 設定済みのSDカードを本機に挿入する



- ・SDカードを挿入するときは…
SDカードの抜き差しは、電源OFF後10秒以上経ってから行ってください。
- P.12 「SDカードの装着/取り外し」

3-3 車両のエンジンをONする

設置角度検出を行うため車両を10秒間移動させないでください。

- ※ 設置角度検出は、平らな場所で行ってください。
- ※ [設置角度検出を実行]の は、設定後には外れた状態になります。もう一度設定する時以外は、 を入れる必要はありません。

4. SDカードフォーマット

一度SDカード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SDカードからの読み込みが遅くなった場合にフォーマットを行ってください。また、数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行うことをお勧めします。

- ※ パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。
- ※ 必ずSDHC規格またはSDXC規格に対応したSDカードリーダーライターやカードスロットをご使用ください。それぞれの規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

4-1 [SDカードフォーマット]をクリックする



※ [ツール]をクリックし、[SDカードフォーマット]をクリックしても同じ画面表示になります。

4-2 [クイックフォーマット]と[完全フォーマット]のいずれかを選択する



- ・クイックフォーマット
録画データを消去する簡易的なフォーマットのため短時間で終了します。
- ・完全フォーマット
SDカード内のチェックを行いながらフォーマットするため時間がかかります。

4-3 [記録設定データを維持]を確認し、[スタート]をクリックする



- ・ 記録設定データを維持
SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。
 を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

4-4 [OK]が表示される

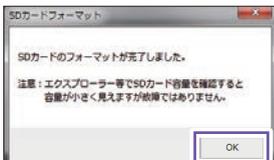


上の確認メッセージが表示されます。
[OK]をクリックします。
中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



さらに上の確認メッセージが表示されます。
[OK]をクリックします。
中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

4-5 [OK]をクリックする



フォーマットが完了します。

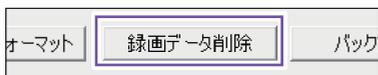
5. 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると [録画データ削除] と [記録設定データ初期化] が選択画面に表示されます。

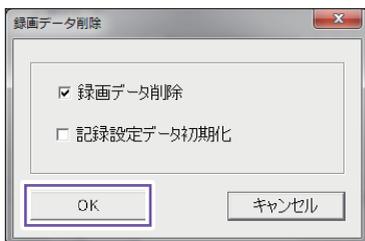
- ・SDカード内に記録されたデータを削除します。
- ・いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(● P.48)

■録画データ削除

5-1 [録画データ削除]をクリックする

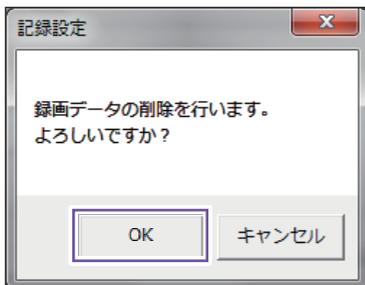


5-2 [録画データ削除]に が入っていることを確認し、[OK]をクリックする



- ・録画データ削除
 を入れると録画データを削除します。
 - ・記録設定データ初期化
 を入れると記録設定データを初期化します。
- ※ 録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に を入れてください。

5-3 [OK]をクリックする



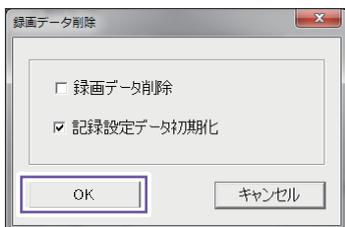
5-4 [OK]をクリックする

記録設定画面に戻ります。

6. 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

- 6-1** [録画データ削除]の をはずし、[記録設定データ初期化]に を入れ、[OK]をクリックする



- ・録画データ削除
 を入れると録画データを削除します。
 - ・記録設定データ初期化
・ を入れると記録設定データを初期化します。
- ※ 録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に を入れてください。

- 6-2** [OK]をクリックする
記録設定画面に戻ります。

7. バックアップ

SDカードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップできます。

※ 操作手順は、● P.48を参照してください。

8. 初期設定に戻す

クリックすると記録設定データを初期化します。

インフォメーション

■ バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

■ ホームページ

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

※ 画面右上の  をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

別売品のSDカードを使用する前に・・・

別売品のSDカード(OP-SD16、OP-SD32、OP-SD64、OP-SD128)を本機で使用する場合、「SDカードフォーマット」と「使用する機種での設定(機種選択)」が必要になります。使用前には必ず下記の手順で行ってください。

※ そのまま使用した場合、正常に動作しません。あらかじめご了承ください。

※ 専用ソフトに接続した際に、「有効なSDカードではありません」と表示された場合にも下記の操作を行ってください。

※ 別売品のSDカード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、リーダーライターがSDXCメモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないリーダーライターに接続すると、SDXCメモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

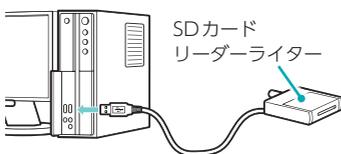
1. 使用前の準備

1-1 最新の専用ソフトに更新する

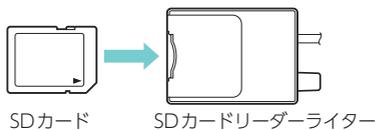
下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



1-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

1-4 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



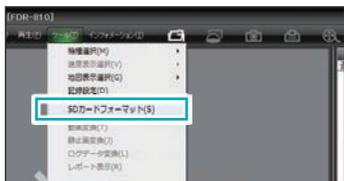
1-5 メニューバーの[ツール]→[機種選択]→[FDR]→[FDR-810]を選択する



PC Browserの右側に[FDR-810]と表示されます。

※ 間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

1-6 メニューバーの[ツール]→[SDカードフォーマット]を選択する



1-7 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



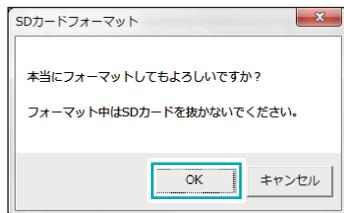
1-8 [完全フォーマット]を選択し、[スタート]をクリックする



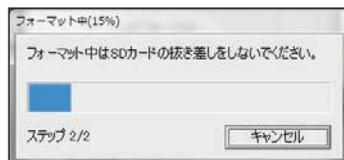
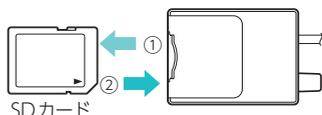
1-9 [OK]をクリックする



1-10 [OK]をクリックする

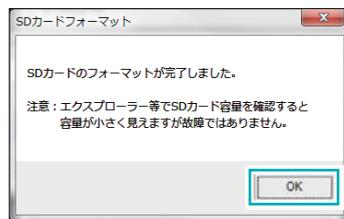


1-11 SDカードを抜き差しする



フォーマットが開始されます。

1-12 [OK]をクリックする



以上で使用前の準備は終了です。
各種設定(● P.60)を行ってからSDカードをパソコンから取り外し、本機に装着してご使用ください。

SDカードの機種設定の確認/変更

専用ソフトで、SDカードの機種設定を確認することができます。SDカードの機種設定と使用するドライブレコーダーが異なると、録画できない場合があります。使用するドライブレコーダーを変更する場合は、必ずSDカードの機種設定を変更してください。(●P.71)

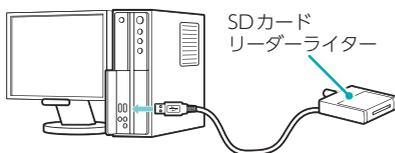
1. SDカードの機種設定を確認する

1-1 最新の専用ソフトに更新する

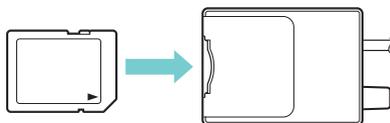
下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



1-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



SDカード

SDカードリーダーライター

※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

1-4 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



1-5 メニューバーの [ツール] → [記録設定] を選択する



1-6 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする

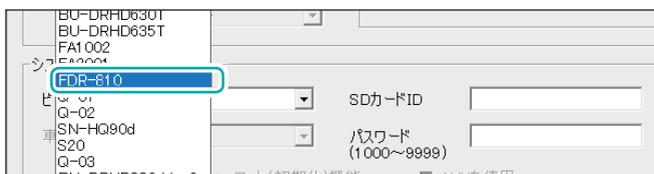


設定画面の「SDカードの設定」に設定している機種名が表示されます。

2. SDカードの機種設定を変更する

例) FDR-800 で設定されたSDカードをFDR-810に変更する。

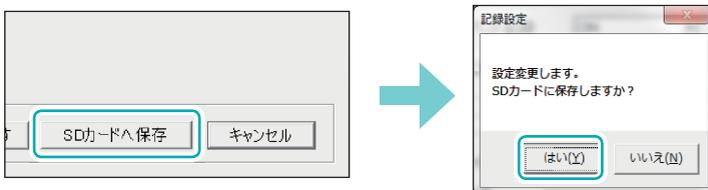
2-1 設定画面の [使用機種] をクリックし使用機種を選択する



2-2 [機種変更を実行] をクリックする



2-3 [SDカードへ保存] をクリックし、[はい] をクリックする



使用機種が変更されます。

※「設定が変更されたためデータを削除します。バックアップしますか?」と案内を表示する場合があります。表示した場合は、SDカードをフォーマットし録画データが削除されます。必要に応じて録画データをバックアップしてください。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- 電源ケーブルが外れていないか確認してください。
- ヒューズケーブルのヒューズが切れていないか確認してください。

切れている場合は、同じ容量 (2A) の新しいヒューズと交換してください。(● P.18)



映像が記録できない

- 付属のSDカードが正しく挿入されていますか。
- 記録設定の上書きモードがOFFになっていませんか。

付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFにし、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(● P.12)

上書きモードがOFFの場合上書きができません。

SDカードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更します。(● P.60)



記録した映像が映らない

- 専用ソフトがインストールされていますか。

付属のSDカード内に保存されている専用ソフトをインストールしてください。(● P.30)

専用ソフトが起動できない/ 起動できるが、SDカードのファイルを読み込めない

- パソコンにDirectX9.0c以降のバージョンがインストールされていますか。

DirectX9.0c以降のバージョンがインストールされていないと起動できない場合があります。DirectX9.0c以降のバージョンをインストールするかアップデートしてください。(● P.31)

- 専用ソフトを管理者として実行していますか。

管理者として実行してください。(● P.31)

本機から『ピー』と5秒間の警告音が鳴る

- 付属のSDカードが正しく挿入されていますか。

付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFにし、10秒経ってから付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。(● P.12)

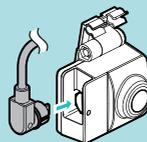


- カメラコネクタ1にカメラが正しく接続されていますか。(1カメラ使用時)

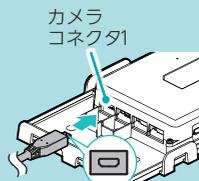
防水周囲カメラが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFにし、防水周囲カメラを正しく接続してください。

※ カメラコネクタ1に防水周囲カメラが接続されていない場合、録画できません。付属の防水カメラケーブルと防水周囲カメラを必ず取り付けてください。

※ 2カメラ併用時は、両方のカメラが正しく接続されていない場合に『ピー』と警告音が鳴ります。正しく接続されているか確認してください。



防水周囲カメラ
(● P.21)

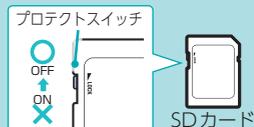


本体

本機から『ピーピーピーピー』と警告音が鳴り停止する

- SDカードのプロテクトスイッチがON(書き込み禁止)になっていませんか。

車両のエンジンをOFFにして、付属のSDカードを抜き取り、プロテクトスイッチをOFFにして、再度正しく挿入してください。



- 本機専用以外のSDカードが挿入されていませんか。

付属のSDカードもしくは別売品のSDカードを挿入してください。(☛ P.10)

本機から『ブブブブ…』と3秒間の警告音が鳴り停止する

- センサユニットが本体に正しく接続されていますか。

センサユニットが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFにし、センサユニットを本体のセンサユニットコネクタに正しく接続してください。

※ 専用ソフトの設定が「Gセンサ記録:[無効]、ジャイロセンサ記録:[無効]」になっている場合、センサユニットが接続されていなくても警告音は鳴りません。

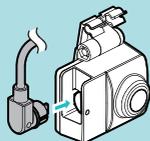


本機から『ブブブブ…』と2秒間の警告音が鳴り停止する

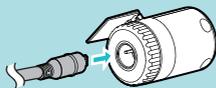
- カメラコネクタ1または、カメラコネクタ2にカメラが正しく接続されていますか。(2カメラ併用時)

どちらかのカメラが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFにし、カメラを正しく接続してください。

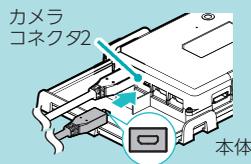
※ 専用ソフトの設定が「サブカメラ:[無効]」になっている場合、カメラコネクタ2にカメラが接続されていなくても警報音は鳴りません。



オプション防水周囲カメラ
(☛ P.25)



オプションサブカメラ
(☛ P.26)



SDカードに録画データが保存されていない

- 録画データのバックアップ等を行い、専用ソフトでSDカードをフォーマットしてください。(☛ P.64)
- SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。

付属品、または別売品のSDカード以外は使用しないでください。製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

録画データの日付や時刻がずれる

- 専用ソフト上で「日時設定」を行ってください。(☛ P.62)

専用ソフトを起動すると「このSDカードの記録データを読み込むことができません。実行ユーザーの権限などを確認してください。(3.5)」と表示される

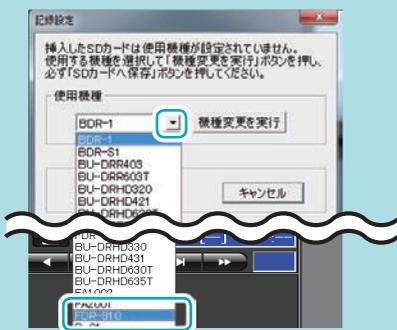
- 「管理者権限」で専用ソフトを起動していますか。

パソコンのローカルディスクC：¥Program Files(x86) ¥PC Browser フォルダを開いて、「PC Browser.exe」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「互換性」タブ内の、「特権レベル」から、「管理者としてプログラムを実行する」にチェックを入れてください。

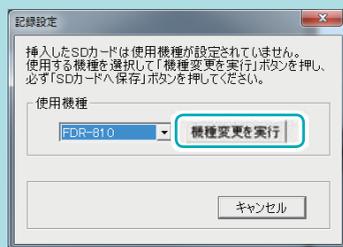
専用ソフトでSDカードを読み込むと「挿入したSDカードは使用機種が設定されていません。」と表示される

- 下記の手順に沿って使用機種を設定してください。

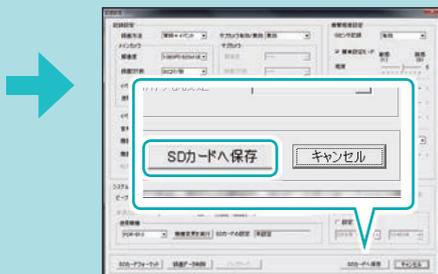
- ①使用機種の▼をクリックし使用機種を選択する



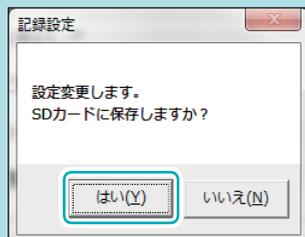
- ②「機種変更を実行」をクリックする



- ③設定画面の「SDカードへ保存」をクリックする



- ④「はい」をクリックする



SDカードに使用機種の設定が保存されます。

※「キャンセル」を選択した場合、設定が保存されません。

専用ソフトでSDカードを読み込むと「有効なSDカードではありません」と表示される

- 専用ソフトで完全フォーマットを行ってください。(● P.68)

専用ソフトを起動すると「ディスプレイ設定 (DPI) を確認してください」と表示される

- ご使用のパソコンのディスプレイ設定を開いて、項目のサイズが「100%」になっているか確認してください。

イベント記録がうまく働かない

- 加速や減速、路面の凹凸などに反応しすぎる場合は、専用ソフトで衝撃感度を鈍感側に設定してください。(● P.63)
感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- 設置角度検出を行ってください。(● P.64)
センサユニットを初めて取り付けたときや設置場所を変更した場合は、設置角度検出を実行してください。

仕様

外形寸法 (突起部除く)	本体(メインユニット)	154 (W) × 26 (H) × 94 (D) mm
	防水周囲カメラ/ オプション防水周囲カメラ	50 (W) × 40 (H) × 33 (D) mm
	オプションサブカメラ	51 (W) × 33 (直径) mm
	センサユニット	35 (W) × 10 (H) × 26 (D) mm (ケーブル部除く)
本体重量	本体(メインユニット)	約 198g
	防水周囲カメラ/ オプション防水周囲カメラ	約 45g (ブラケット含む)
	オプションサブカメラ	約 40g (ブラケット含む)
	センサユニット	約 70g (接続ケーブル含む)
記録媒体	SDHCカード (8GB ~ 32GB) (8GB 付属) SDXCカード (64GB ~ 128GB)	
撮像素子	200万画素 カラー CMOS	
防水周囲カメラ/ オプション防水周囲カメラ	視野角*1 水平 360° × 垂直 210°	
オプションサブカメラ	レンズ画角*1 : 対角 154.8° (水平 121.3°、垂直 62°) 最大記録画角*1 : 対角 154.8° (水平 121.3°、垂直 62°)	
記録解像度	最大 200万画素 1080P (1920 × 1080)、1080P (1440 × 1080)、 720P (1280 × 720)、VGA (640 × 480)	
GPS	無	
センサー	Gセンサー/ジャイロセンサー	
画質	HDR (ハイダイナミックレンジ)	
記録方式	常時録画/イベント記録 (Gセンサー&ジャイロセンサー記録)	
音声	ON / OFF 可能	
フレームレート	30コマ/秒、15コマ/秒、10コマ/秒、5コマ/秒、1コマ/秒、 2コマ/分**2、1コマ/分**2 12コマ/時**2、6コマ/時**2	
映像ファイル形式	独自フォーマット	
最低被写体照度	1LUX (ルクス)	
防水・防塵設計	IP56 準拠	
記録映像再生方法	専用ブラウザソフト*3	
電源電圧	DC12V/24V (マイナスアース車専用)	
消費電力	7W (増設カメラ併用時: 9W)	
動作温度範囲	- 25°C ~ +60°C ※動作湿度範囲: 30% ~ 80% RH (結露なきこと)	
製品保証期間	1年 (消耗部品は除く)	

※1: 解像度により記録される視野角が変化します。広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2: メインカメラの録画コマ数を [2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]にした場合、イベント記録コマ数は [1コマ/秒] になります。

※3: Microsoft Windows10、8、7に対応。

- ・本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

映像記録時間の目安

付属のSDカード(8GB)の場合、以下のようになります。

- ※ 下記表は目安で、絶対保障値ではありません。被写体や周囲環境などの要因により、録画可能時間と件数は変化します。
- ※ 録画時間は、常時録画、イベント記録のすべての録画時間の合計です。お使いの状況により、録画可能時間は変化します。
- ※ [常時+イベント]はおおよそですが、SDカード容量を常時70%、イベント30%で使用します。[常時録画]や[イベント記録]の場合は、選択した録画方法でSDカード容量を100%使用します。
- ※ 16GBの場合は8GBの2倍、32GBの場合は8GBの4倍、64GBの場合は8GBの8倍、128GBの場合は8GBの16倍の録画時間・イベント記録件数になります。

1. 録画時間([常時録画]を選択した場合)

※ 2カメラ併用時は、録画時間は記載時間の半分にになります。

	1080P (1920×1080)	1080P	720P	VGA
30コマ/秒	120分	160分	220分	380分
15コマ/秒	240分	320分	440分	760分
10コマ/秒	360分	480分	640分	1,140分
5コマ/秒	720分	960分	1,280分	2,300分
1コマ/秒	1,800分	2,400分	3,200分	5,800分
2コマ/分	900時間	1,200時間	1,600時間	2,900時間
1コマ/分	1,800時間	2,400時間	3,200時間	5,800時間
12コマ/時	9,000時間	12,000時間	16,000時間	29,000時間
6コマ/時	18,000時間	24,000時間	32,000時間	58,000時間

2. イベント記録件数([イベント記録]を選択した場合)

■ 30コマ/秒の場合

※ 15コマ/秒の場合、記録件数は2倍になり、それ以降のコマ数/秒では、件数が比例して増加します。

	1080P (1920×1080)	1080P	720P	VGA
イベント記録時間 前後の合計60秒	120件	160件	220件	400件
イベント記録時間 前後の合計50秒	150件	200件	270件	500件
イベント記録時間 前後の合計40秒	180件	240件	320件	600件
イベント記録時間 前後の合計30秒	240件	320件	420件	800件
イベント記録時間 前後の合計20秒	360件	480件	640件	1,200件

2カメラ併用時のイベント記録時間

サブカメラを[有効]にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によっては、選択できない項目があります。

※ サブカメラの解像度・録画コマ数は、メインカメラの設定値以下で選択できます。

全てのイベント記録時間	60秒(30,30)(40,20)(50,10)、50秒(30,20)(25,25)(40,10)、40秒(20,20)(25,15)(30,10)、30秒(18,12)(20,10)(25,5)、20秒(10,10)(12,8)(15,5)
-------------	---

■ イベント記録

メインカメラの解像度	メインカメラの録画コマ数	選択可能なイベント記録時間	
1080P (1920×1080)	[30コマ/秒]	60秒(30,30)、 40秒(20,20)(25,15)、 20秒(10,10)(12,8)、	50秒(30,20)(25,25)、 30秒(18,12)(20,10)、
	[15コマ/秒]以下	全てのイベント記録時間	
1080P (1440×1080)	[30コマ/秒]	60秒(30,30)(40,20)、 40秒(20,20)(25,15)(30,10)、 20秒(10,10)(12,8)(15,5)	50秒(30,20)(25,25)、 30秒(18,12)(20,10)、
	[15コマ/秒]以下	全てのイベント記録時間	
720P (1280×720)	[30コマ/秒]以下	全てのイベント記録時間	
VGA (640×480)	[30コマ/秒]以下	全てのイベント記録時間	

■ 常時+イベント

メインカメラの解像度	メインカメラの録画コマ数	選択可能なイベント記録時間	
1080P (1920×1080)	[30コマ/秒]	40秒(20,20)、20秒(10,10)	
	[15コマ/秒]	60秒(30,30)、 40秒(20,20)(25,15)(30,10)、 20秒(10,10)(12,8)	50秒(30,20)(25,25)、 30秒(18,12)(20,10)、
	[10コマ/秒]		
	[5コマ/秒]以下	全てのイベント記録時間	
1080P (1440×1080)	[30コマ/秒]	40秒(20,20)、20秒(10,10)	
	[15コマ/秒]	60秒(30,30)、 40秒(20,20)(25,15)(30,10)、 20秒(10,10)(12,8)	50秒(30,20)(25,25)、 30秒(18,12)(20,10)、
	[10コマ/秒]以下	全てのイベント記録時間	
720P (1280×720)	[30コマ/秒]	40秒(20,20)、20秒(10,10)	
	[15コマ/秒]以下	全てのイベント記録時間	
VGA (640×480)	[30コマ/秒]以下	全てのイベント記録時間	

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書や専用ソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>